

ワイヤレス防犯カメラセット

ワイヤレス見張隊 **NEO** **GRAND SLAM**

ワイヤレス見張隊^ネ^オNEOグランドスラム

取扱説明書 詳細版

【型番】L-WMN-GS4C / L-WMN-GS2CR

【202607 版】



目 次

1. はじめに.....	3
1-1. 安全上の注意.....	4
1-2. 構成品一覧.....	8
1-3. 外観および各部名称.....	9
1-4. 接続構成図.....	10
2. 設置方法.....	11
2-1. 設置する際の注意事項.....	11
2-2. カメラの設置.....	12
2-3. カメラケーブルの防水方法.....	14
2-4. 録画装置の接続.....	15
3. 基本操作.....	16
3-1. ライブ画面の説明.....	16
3-2. ログイン操作.....	17
3-3. 録画モードの設定.....	18
3-4. モーション録画の設定.....	19
3-5. 録画映像の再生.....	20
3-6. 録画映像をバックアップする.....	21
3-7. 時刻を調整する.....	22
3-8. 録画装置の電源を切る.....	23
3-9. モニター表示のみを消灯にする場合.....	23
4. メニューの説明.....	24
4-1. メニュー画面の説明.....	24
4-2. カメラメニューの説明.....	24
4-3. 表示画面数の変更.....	24
4-4. カメラ映像位置の入れ替え（チャンネル番号の変更）.....	25
4-4. P T Z 操作（オプション）.....	25
4-5. カメラ画像の設定をする.....	26
5. システム設定.....	27
5-1. 一般設定.....	27
5-2. カメラ設定.....	28
5-3. 日付・時刻.....	29
5-4. ネットワーク.....	30
5-5. デバイス診断.....	34
5-6. ストレージ設定.....	34
5-7. アカウント・A P P.....	35
5-8. 出荷時設定.....	36
6. パソコンで映像を確認する.....	38
6-1. ネットワークの接続.....	38
6-2. Network video client の起動方法（Internet Explorer）.....	39
6-3. Internet Explorer モードで起動する.....	41
6-4. Network video client の画面.....	45
7. その他の操作.....	48
7-1. カメラの登録を削除する.....	48
7-2. 録画装置にカメラを登録する.....	49
7-3. カメラを有線 LAN 接続で設置する場合.....	50
8. トラブルシューティング.....	54
9. 仕様.....	55

1. はじめに

このたびは、『ワイヤレス見張隊 NEO グランドスラム』をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、ワイヤレス見張隊 NEO グランドスラム（以下、本装置）の設置方法、操作方法、および構成などを説明いたします。

本装置の特長

- ・人体検知 A I を搭載。車や動物を検知せず人間だけを識別して録画や通知することができます。
- ・ワイヤレス接続のため、カメラケーブルを引き回す作業が無く、設置が簡単です。
- ・フルハイビジョンの映像を、H. 265 形式（高圧縮）で録画できます。
- ・カメラが暗さを感知し、自動でデイ／ナイト切り替えして鮮明に録画します。
- ・記録媒体一体型のモニター型レコーダーだから、コンパクトに設置できます。
- ・カメラ 4 台使用時、約 20 日間分録画できます。
- ・U S B メモリに、録画データをバックアップすることができます。
- ・ネットワーク接続をすることにより、パソコンから録画装置の映像を確認できます。

本書では、呼称を以下の通り定義いたします。

呼 称	意 味
カメラ	本装置に付属のワイヤレスカメラ全般を指します。
録画装置	ネットワークカメラ専用のモニター付レコーダーを指します。
HDD	本装置内に装着されているハードディスクドライブを指します。 カメラ映像を保存する記録媒体です。
ライブ映像	カメラから入力され、モニターに映し出されている映像を指します。 （録画された映像ではありません。）
録画	映像を記録媒体 (HDD) に記録することを指します。
録画映像	記録媒体 (HDD) に録画されている映像を指します。
ビデオロス	映像信号が途切れたことを意味します。
モーション（動体）検知	映像に変化があった時（例：人が歩いている）に、それをトリガーとして、録画やアラームを鳴らすことができる機能を指します。
人体検知	撮影映像から、人間を検知する機能です。

- ・本装置のご使用にあたって必要とされる一般的なパソコンの操作につきましては、本書では記載しておりません。あらかじめご注意ください。
- ・本書の図や画面は、説明を目的とするため、実際の表示と多少異なる場合があります。ご了承ください。
- ・本装置のファームウェアのバージョンの違いにより、本書で説明する画面と若干異なる場合があります。ご了承ください。

1-1. 安全上の注意

本装置を操作する前に本書をよくお読みください。本装置は精密機器であり慎重な取り扱いが必要です。カメラを設置する際、設置する地域の条例やガイドラインに従って設置してください。設置箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

●安全に正しくお使いいただくために

本書および本装置の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。

	警告	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

■図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。

	○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。
	●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。
	△記号は、注意を促す内容を示します

■設置場所について

	警告
	●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁への設置禁止 カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
	●壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）に注意 ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
	●湿度の高い場所への設置禁止 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●本装置は日本国内で使用する 本装置は日本国内専用です。国外で使用するとう火災や感電の原因になります。 また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。

	注意
	●モルタル塗装部への設置 穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
	●火気のそばへの設置禁止 本装置や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。 カバーや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
	●直射日光、高温の場所への設置禁止 直射日光の当たるところや、高温のところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
	●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止 調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。
	●不安定な場所への設置禁止 ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
	●重電機器・電磁波を発生する機器の近くへの設置禁止 業務用洗濯機、工作機械、電動機などの重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近くに設置しないでください。また、上記と同じ電源元から電源を供給しないでください。ノイズの影響を受けて異常が発生するおそれがあります。

お願い	●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。 ・ほこりが多い場所 ・極度に振動が激しい場所 ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所 ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所 ・極度に高温や低温になる場所 ●家電機器 (AV 機器/調理機器/空調機器など) から離して設置してください。 特にテレビ等のリモコンを本装置に近くで操作すると、誤動作するおそれがあります。 ●電波の到達距離について 録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場合は、電波が届きにくくなります。 ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合 ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合 ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合 (外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、網入りガラス、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具等) ●カメラは電波干渉による影響を防止するため、次の機器から離して使用してください ・電子レンジ・無線 LAN 機器・ワイヤレス AV 機器・インバーター電気機器・他社製のワイヤレス型防犯カメラ その他、下記の機器でも近くで使用すると本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。 ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・デジタルコードレス電話機・火災報知機・アマチュア無線局 ・自動ドア・マイクロ波治療器・Bluetooth®対応機器・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン
------------	---

■使用について

(1) こんなときは

	警告
	●発煙への対処 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
	●水が装置内部に入った場合の対処 万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処 電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

(2) 電源について

 警告	
	●家庭用電源以外の禁止 AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コード 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コードの取扱注意 電源アダプタ・電源コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。
	●ぬれた手で操作禁止 ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	●たこ足配線の禁止 分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

 注意	
	●電源コードの取扱注意 電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●乗ることの禁止 本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

(3) 禁止事項について

 警告	
	●改造の禁止 本装置を分解・改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●ぬらすことの禁止 本装置に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。

(4) その他のご注意

 注意	
	●雷のときの注意 雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよび LAN ケーブルに触れないようにしてください。
	●電源ケーブルの清掃 コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に 1 回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●長期間ご使用にならないときの注意 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本装置を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上適切なご使用をこころがけていただきますようお願いいたします。

●プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

●セキュリティについて

本装置をネットワークに接続する場合、パスワードを出荷時のパスワードから、複雑なパスワードに設定することを強く推奨します。パスワードを変更する際、変更したパスワードは忘れないようにメモをしてください。

パスワードが漏洩すると、映像が外部に流出するおそれがあります。

●内蔵のハードディスクを交換した場合

お客様がハードディスクの交換を行った時点から、1年間の無償保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●ハードディスクの交換時期について

ハードディスクを連続して使用すると、ヘッドやモーターの摩耗および劣化が発生します。性能を維持させるために、(周囲温度 25℃使用時) 2～3年程度を目安に交換をお勧めします。通電時間が2～3年を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。ハードディスクの交換をご希望の場合は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。

※交換は目安であり、性能を保証するものではありません。

●人体検知機能について

本製品は、撮影した映像を人体検出 AI 機能にて、人間を検知して録画する機能を有しています。

しかし、撮影環境や被写体の服装等により誤検知または検知できない可能性がありますのでご了承ください。

●免責事項について

- ・本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本装置の故障・修理・その他取り扱いによって、本装置に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●商標について

- ・Android および Android ロゴ、Google および Google ロゴ、Google Play および Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・Apple、Apple のロゴ、iPad、iPhone、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・IOS は、Cisco の米国およびその他の国の登録商標であり、Apple Inc. がライセンスに基づき使用しています。
- ・Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Microsoft Edge、Internet Explorer またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

●ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

1-2. 構成品一覧

ご使用いただく前に、次の構成品が全部そろっているか確認してください。

万一、不足や損傷している場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

■録画装置

 録画装置 × 1	 録画装置用スタンド × 1	 録画装置用電源アダプタ × 1
 マウス × 1	 LAN ケーブル × 1	 取扱説明書 × 1

■カメラ

- ・カメラ 4 台モデルの場合、カメラは 4 台入っています。
- ・カメラ 2 台モデルの場合、カメラは 2 台入っています。

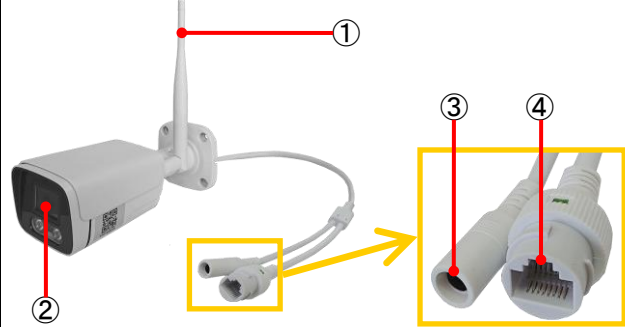
 カメラ (アンテナ含む)	 カメラ用取付け部材	 カメラ用電源アダプタ
---	--	---

◆ネットワークに接続する場合、さらに以下の構成品も準備してください。

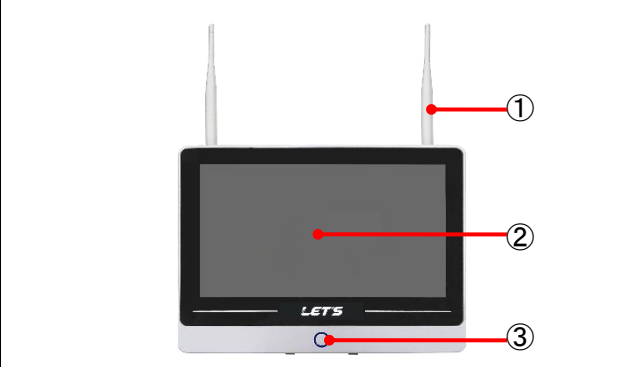
- | | |
|----------------------|----------------|
| ・スイッチングハブ | ・ Windows パソコン |
| ・パソコンへの接続する LAN ケーブル | ・インターネット接続環境など |

1-3. 外観および各部名称

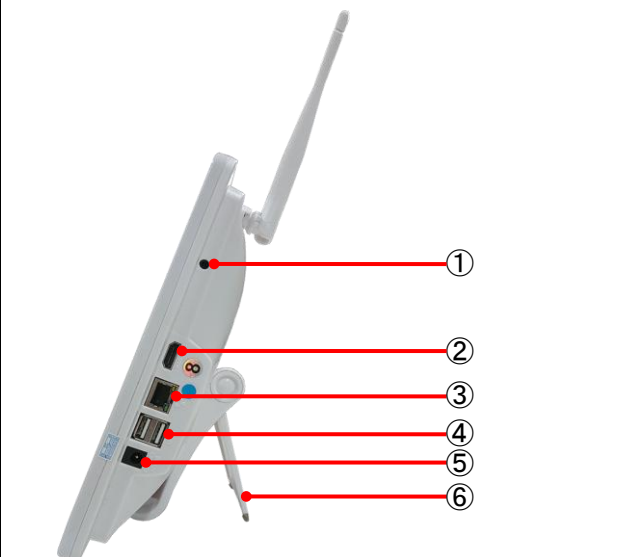
1-3-1. カメラ

	① アンテナ 映像データを録画装置へ伝送します。
	② カメラレンズ 被写体を撮影します。
	③ 電源端子 電源アダプタを接続します。
	④ LAN 端子 録画装置にカメラを追加する場合、LAN ケーブルで録画装置と接続して設定します。

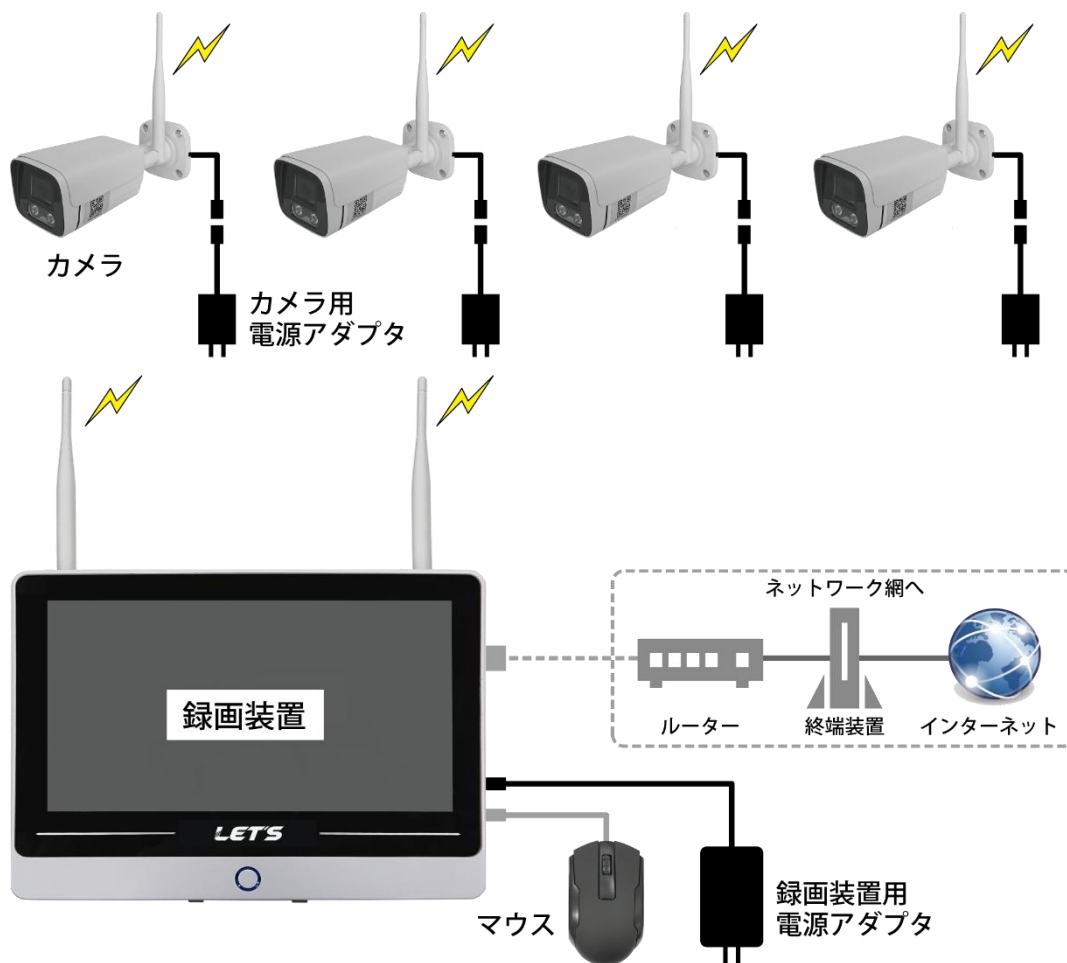
1-3-2. 録画装置【表面】

	① アンテナ カメラの映像データを受信します。
	② モニター 映像を表示します。
	③ モニター電源ボタン モニター画面の表示を ON/OFF します。 (電源 ON/OFF ボタンではありません)

1-3-3. 録画装置【側面】

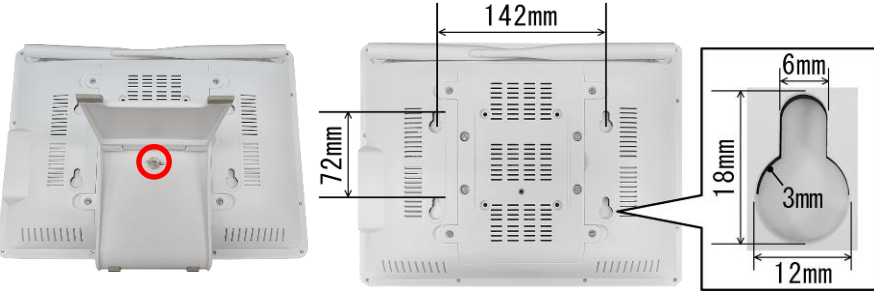
	① 音声出力端子 (3.5mm) 音声を出力します
	② HDMI 端子 モニターの映像を出力します。
	③ LAN 端子 ネットワーク接続時、LAN ケーブルを接続します。
	④ USB 端子 マウスを接続します。 バックアップ時に USB メモリを接続します。
	⑤ 電源端子 電源アダプタを接続します。
	⑥ スタンド 録画装置を立てます。

1-4. 接続構成図



● 録画装置の設置方法

設置する前に、次ページ記載の注意事項を確認してください。

 スタンドを立てて設置する場合、水平な場所に設置してください。	録画装置の重量：約 1.7kg  吊り下げ穴に引っ掛けて設置する場合、スタンドを外してから、背面にある4箇所の吊り下げ穴に引っ掛けて設置できます。 【吊り下げ用のネジ(M6 相当)等はお客様にて準備してください】
---	---

2. 設置方法

録画装置とカメラを設置する方法を説明します。

カメラは水の浸入に対する保護等級 IP65 相当(あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありません。長く大切にご使用いただくために、雨や日差しが直接当たらない場所(軒下など)への設置をお勧めします。

2-1. 設置する際の注意事項

下記の注意事項をよくお読みください。

警告

-  不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けしないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
-  壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
-  AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本装置は日本国内専用です。国外で使用するとう火災や感電の原因になります。
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
-  万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
-  録画装置・カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

-  壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
-  モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
-  録画装置を不安定な場所に置かないでください。また、録画装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けが・故障の原因となります。
-  録画装置・カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・火気のそば
 - ・不安定な場所
 - ・極度に振動が激しい場所
 - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
 - ・直射日光が当たるところ
 - ・油飛びや湯気が当たるような場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・極度に高温や低温になる場所
 - ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く

正しく設置するために

- ・カメラを正しく設置するために、ネジの取り付け位置をあらかじめご確認ください。
- ・録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場所では、電波が届きにくくなります。
 - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合
 - ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合
(外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、網入りガラス、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具等)

カメラは電波干渉による影響を防止するため、次のように機器から離して使用してください。

- ・電子レンジ ・無線 LAN 機器 ・ワイヤレス AV 機器 ・インバーター電気機器
- ・他社製のワイヤレス型防犯カメラ
- その他、下記の機器でも近くで使用すると、本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー ・デジタルコードレス電話機 ・火災報知機 ・アマチュア無線局
- ・自動ドア ・マイクロ波治療器 ・Bluetooth®対応機器 ・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン

2-2. カメラの設置

カメラを、壁に取り付ける場合を例に説明します。プラスドライバーを用意してください。

録画装置の映像を確認しながら設置してください。

また、屋内設置の場合、工具を使用せずに設置する方法として、結束バンドを各ネジ穴に通して固定する方法もあります。

ご注意：設置場所によってはアンテナに干渉する箇所が有り、取り付けできない向きがあります。

ご了承ください。その場合、防犯カメラ用の取付金具等を用意してから設置してください。

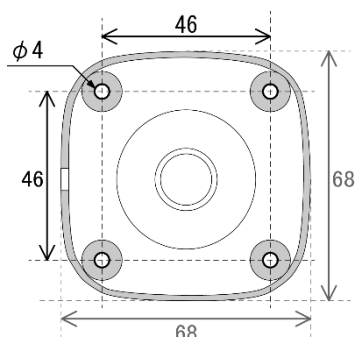
設置環境により、以下の手順通りでなく調整し易い手順で、設置・調整を行ってください。

また、カメラを天地反対(ロゴが反対向き)にして設置する場合、防水性能が落ちます。

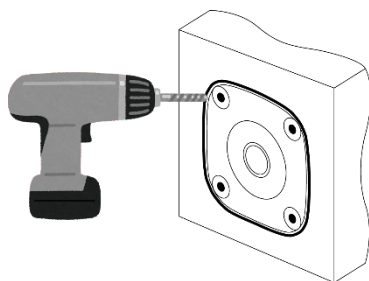
雨がかからない場所に設置してください。

カメラの取付け、および向きを調整するネジは、しっかりと締めてください。すき間があると防水性能が落ちます。必要に応じて、コーキング材で防水処理をしてください。

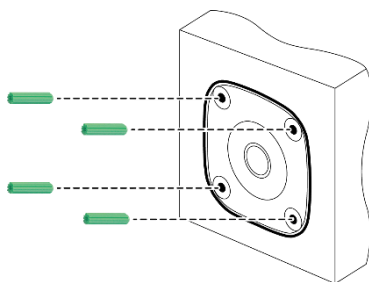
カメラ
の重量：
約 380g



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。



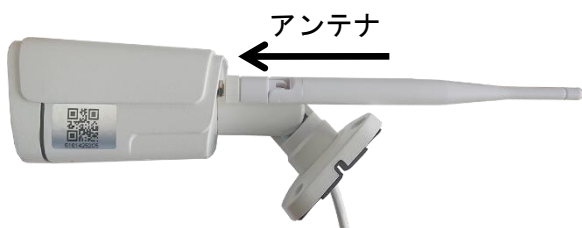
2. 壁に穴を開けます。
φ6～6.5mm のドリルビットを使用し、深さ 30mm のガイド穴を開けます。



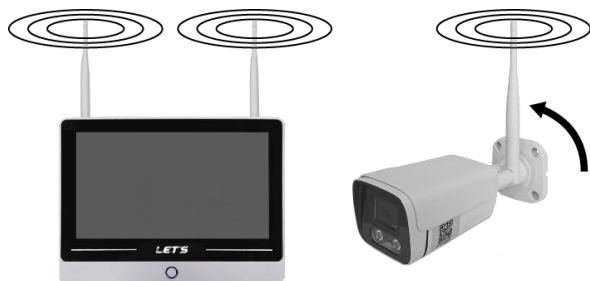
3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。



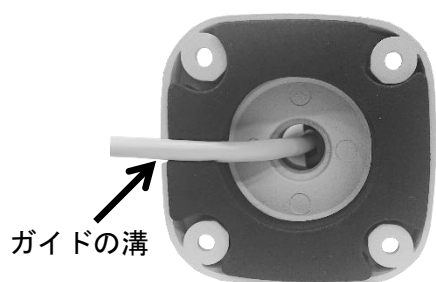
4. 左図のネジを緩めます。
アンテナを取り付ける為、脚を曲げます。



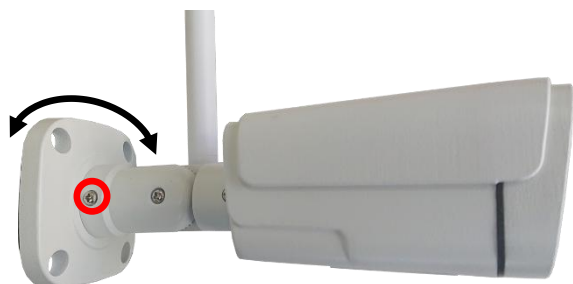
5. アンテナを取り付けます。



6. アンテナを立てて、録画装置のアンテナ向きと正対させます。



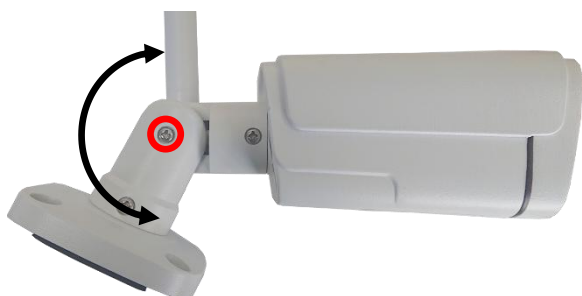
7. ガイドの溝から、カメラケーブルを出します。



8. 左図のネジを緩めると、取付け面の向きを変えられます。



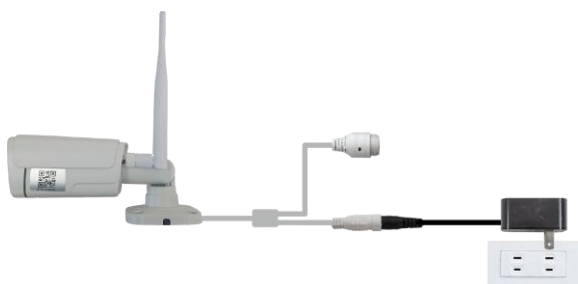
9. 取付け面のネジ穴にネジを通して、ドライバーでネジを締めて取付け面に密着させます。



10. 脚の角度を調整後、左図のネジを締めて、脚を固定します。



11. 左図のネジを緩めると、カメラの画角を回転させることができます。



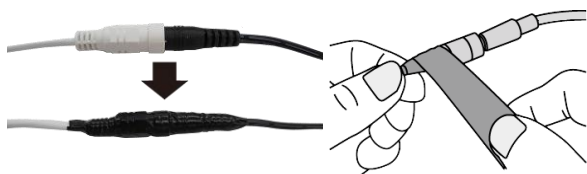
12. カメラの電源端子に、カメラ用電源アダプタ (DC12V/1A) を接続します。

2-3. カメラケーブルの防水方法

ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。

防水プルボックス等に収納する場合は不要です。

【メモ】ケーブルの端子に加え、アンテナ結合部、ネジ部、カメラの隙間を、コーキング材を使用することで防水効果を高めます。



1. カメラと電源アダプタの接続部は、市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。



2. LAN 端子があるカメラの場合、通常は使用しないため、端子部が濡れないように市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。

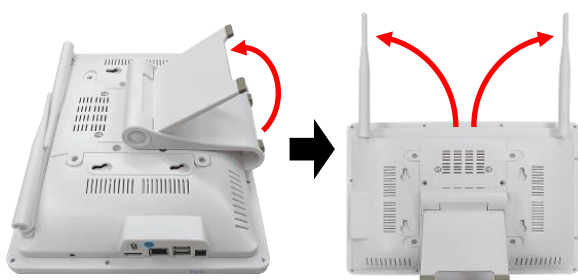
2-4. 録画装置の接続

カメラと録画装置を接続します。またネットワークに接続することも可能です。

ネットワーク接続時の機器等は、お客様側でご用意ください。



1. スタンド設置の場合、スタンドを接続します。
(スタンドを取り付けてから、ネジ止めします。)



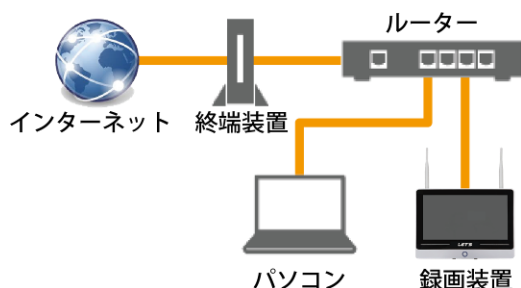
2. 録画装置のスタンドを立て、アンテナを立てます。



3. USB 端子にマウスを接続します。



4. 【ネットワークに接続する場合】
LAN 端子に LAN ケーブルを接続します。



5. 【ネットワークに接続する場合】
ネットワーク環境に接続します。



6. 録画装置の電源アダプタ (DC12V/3A) を接続します。録画装置の電源が入ります。

3. 基本操作

ライブ映像画面の説明、ログイン、録画設定、再生操作等の基本的な操作を説明します。
電源アダプタを接続してしばらくすると、カメラ映像が表示されて録画を開始します。

3-1. ライブ画面の説明

画面内に表示される主なアイコンについて説明します。



■ 画面右上側の状態アイコン

連続録画中	モーション(動体検知)録画中
人体を検知中	カメラの電波強度

■ カメラ設定アイコン

全画面表示	画像設定画面を表示
音声出力のオン/オフ	デジタルズーム
(オプションの)PTZ カメラの操作	カメラから警報音を出力

■ タスクバーのメニュー

メニュー画面を表示	警報音を出力
録画映像の再生・バックアップ	カメラの追加登録
表示画面数の変更	システム設定画面を表示
音量の調整	ネットワーク設定画面を表示
アプリのダウンロード画面を表示	オフライン / オンライン ネットワーク接続状態

■ チャンネル画面の表示

CH2 カメラが接続できていない	CH3 カメラが登録されていない	CH4 クリックでカメラを登録開始
---------------------	---------------------	----------------------

3-2. ログイン操作

再生操作、メニューからの操作、及び設定に関する操作する場合、ログイン操作が必要です。

メモ：ログインしてから5分間操作しない状態が続くと、自動でログアウトします。

ご注意：管理者がパスワードを変更した場合、管理者にパスワードを確認してください。



1. 設定等进行操作する場合、ログイン操作画面が表示されます。

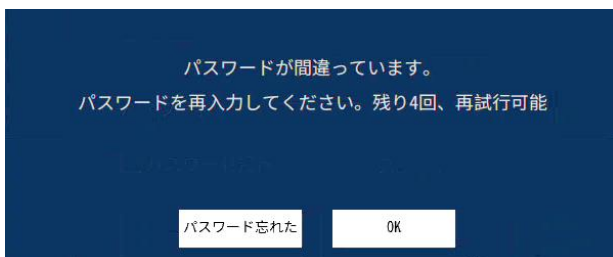
2. パスワード欄をクリックすると、キーボードが表示されます。



3. キーボードからパスワードを入力します。
入力後[Return]をクリックします。
出荷時のパスワードは「123456」です。



4. [ログイン]をクリックします。
設定等の操作を行うことができます。



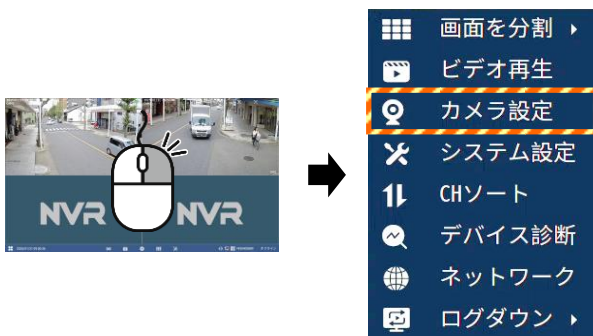
【メモ】パスワードを5回間違えると、10分間ログイン操作することができません。

3-3. 録画モードの設定

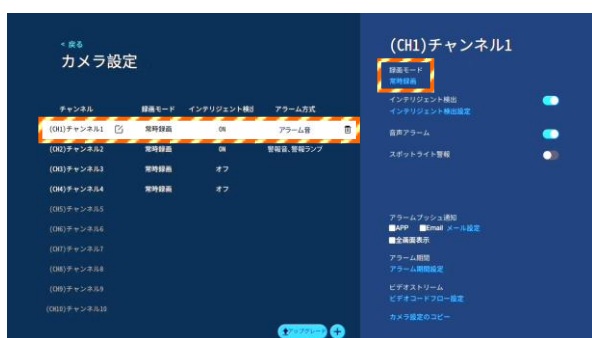
各チャンネル(カメラ)に対して、録画モードを設定できます。

出荷時は、[常時録画](常に録画し続ける)に設定されています。

なおHDDが一杯になると、一番古い録画データを自動で削除し、最新の録画データを上書きします。

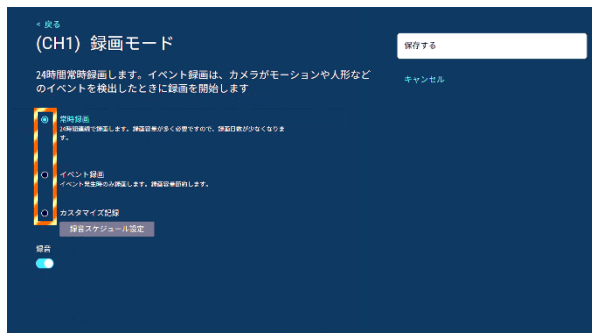


1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[カメラ設定]をクリックします。(ログイン画面表示時、ログイン操作します。)



2. 録画モードを設定するチャンネル(カメラ)を選択します。

3. 録画モード欄(青文字部)をクリックします。



4. 録画モード画面が表示されます。
録画モードを、[常時録画]、[イベント録画]、[カスタマイズ記録]から選択して、[保存する]をクリックします。



5. カスタマイズ記録を設定する場合、[録画スケジュール設定]をクリックします。
録画スケジュール画面が表示されます。
マウスのドラッグ操作で、[常時録画(青)]、[イベント(赤)]を、曜日と時間帯で設定できます。
設定後、[保存する]をクリックします。



6. カメラ設定画面に戻ります。
設定が反映されます。
7. 他のチャンネルも、手順2～6の操作を繰り返して、設定します。

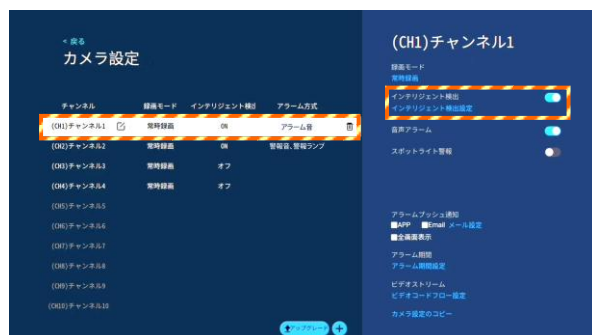
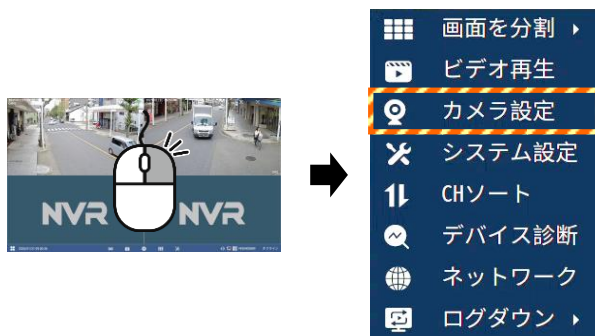
3-4. モーション録画の設定

モーション(動体検知)録画をする場合の設定方法です。

※モーション録画とは、映像データ(被写体)の変化を検知した時に録画する機能です。

人、動物、車両等が動くと、映像データが変化するため、モーション検知したと判定します。

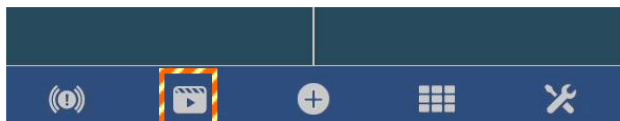
この動作は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。この機能を利用して録画すると、再生時に、モーション録画のみを選択して再生できます。



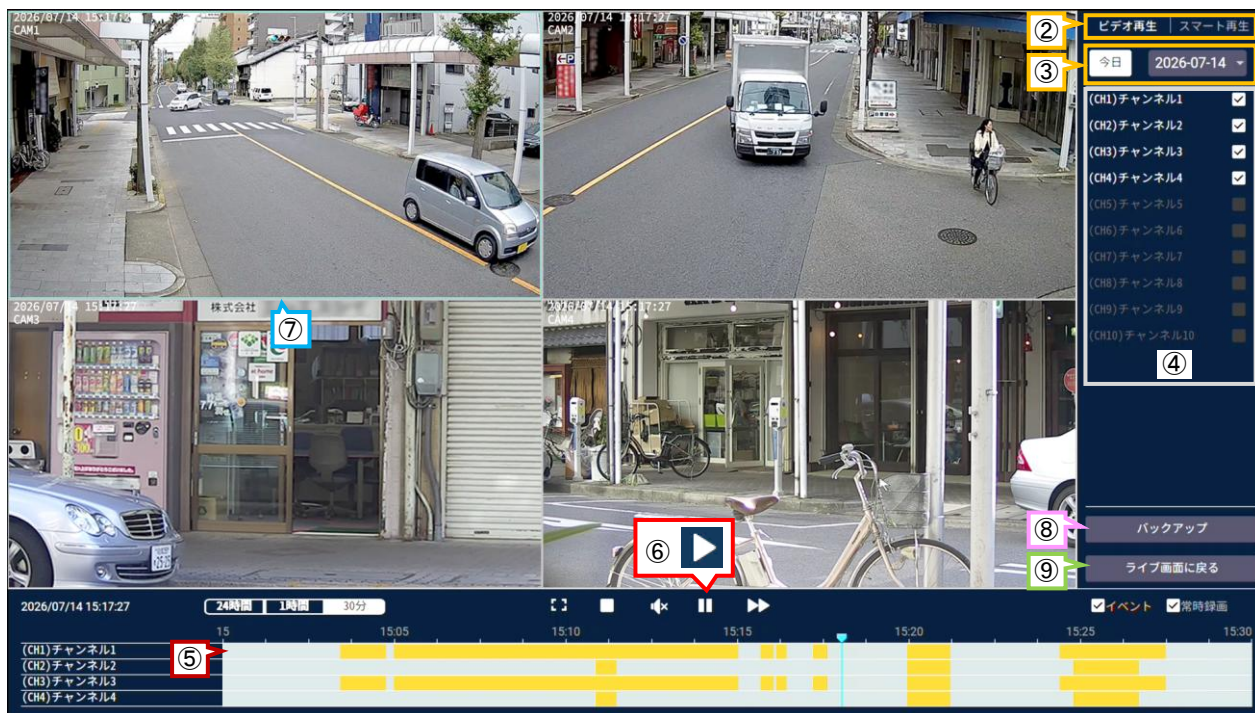
1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[カメラ設定]をクリックします。(ログイン画面表示時、ログイン操作します。)
2. 録画モードを設定するチャンネル(カメラ)を選択します。
3. インテリジェント検出を、[有効]にします。
4. [インテリジェント検出設定]をクリックします。
5. 設定画面が表示されます。
イベント検出領域を[有効]にして、画面内で検出する領域をマウスのドラッグ操作で設定、次に感度(5段階)を設定します。
人を検知させる場合、人形検知に☑を入れます。人形フレームスイッチを[有効]にすると、人の検出時にボックス表示されます。
設定後、[保存する]をクリックします。
6. 設定が反映されます。
モーション検知時に、[音声アラーム]または[スポットライト警報]を有効にすることで、音や光で通知することができます。
【メモ】アラームプッシュ通知のAPPに☑を入れると、(スマートフォンの)アプリに通知させることができます。
7. [アラーム検出期間]をクリックして、モーション検知を有効にする時間帯を設定します。
8. 他のチャンネルも、手順2～7の操作を繰り返して、設定します。

3-5. 録画映像の再生

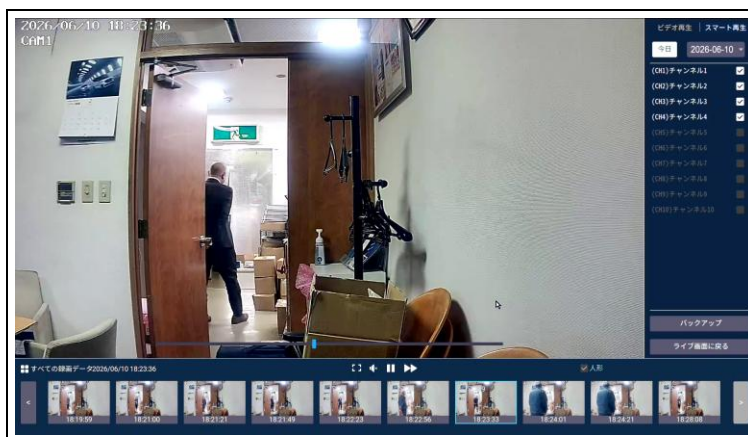
録画した映像を再生する方法を説明します。録画中でも再生することができます。



1. タスクバーの  再生アイコンをクリックします。ビデオ再生画面が表示されます。
(ログイン画面表示時、ログイン操作します。)



2. 再生モードを選択します。(ビデオ再生：通常の再生／スマート再生：人体検知部のみを再生)
3. カレンダーから再生する日付を選択します。(日付をクリックするとカレンダーを表示します。)
4. 再生するチャンネルに☒を入れます。(最大4チャンネルまで選択できます。)
5. 下側に録画されている時間帯がバー表示されます。(24時間／1時間／30分幅に変更できます。)
6. 再生を開始する箇所を選択後、再生  をクリックすると、再生を開始します。
一時停止  、早送り  、停止  等の操作を行うことができます。
7. 音声を確認する場合、対象画面を選択し(水色枠)、 をクリックします。
8. バックアップをする場合、[バックアップ]をクリックします。
バックアップする方法については、「3-6. バックアップ」を参照してください。
9. 再生を終える場合、[ライブ画面に戻る]をクリックします。



【メモ】

左図がスマート再生時の画面です。
人体検知時の映像が再生できます。
[通常の再生]と同様、カレンダーで日付、チャンネル番号を選択します。
画面下側にサムネイル表示され、画面をクリックすると、再生を開始します。

3-6. 録画映像をバックアップする

録画されている映像を、USB 記録媒体 (USB メモリ) にバックアップ (コピー) します。

録画中でもバックアップすることができます。

【メモ】USB メモリは、あらかじめパソコンで FAT32/exFAT 形式のフォーマットをしてください。
バックアップファイル (AVI) は、H. 265 コーデックに対応の動画再生ソフトで再生可能です。



1. USB 端子に、USB メモリを接続します。
2. 「3-5. 録画映像の再生」を参照して、再生画面を表示させ、画面右下側の [バックアップ] をクリックします。

バックアップ先

ストレージデバイス
sdb1(USB DISK)

空き容量
1.85GB of 1.86GB

必要なスペース
29MB

バックアップディレクトリ
sdb1(USB DISK)/

⑥ バックアップ

⑦ ✓ バックアップ成功!

チャンネル	タイプ	開始時間	終了時間	ステータス
チャンネル1	イベント	17:00:00	17:01:29	
チャンネル1	タイミング	17:01:30	17:01:40	
チャンネル1	イベント	17:01:40	17:02:22	
チャンネル1	タイミング	17:02:22	17:09:03	
チャンネル1	イベント	17:09:03	17:09:43	
チャンネル1	タイミング	17:09:43	17:10:00	

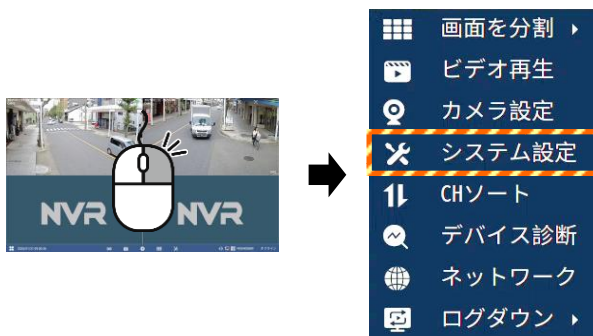
3. バックアップするチャンネル番号、録画タイプ (タイミング (連続録画)・イベント (モーション)) を指定します。
4. バックアップする時間帯 (開始時間・終了時間) を選択後、[探す] をクリックします。
5. バックアップ可能なファイルが、下部に表示されます。
バックアップするファイルの左側の [●] を選択します。
6. 右側の [バックアップ] をクリックします。バックアップを実行します。
7. ステータス欄に「バックアップ成功!」と表示されるとバックアップ完了です。
8. 他のチャンネルや時間帯をバックアップする場合、手順 3～7 の操作を繰り返します。
9. バックアップを終える場合、[戻る] をクリックすると、再生画面に戻ります。

3-7. 時刻を調整する

録画装置の時刻がズレている場合、時刻を調整します。

【ご注意】時刻は定期的に確認して、時刻を調整してください。

【システム設定画面の表示】



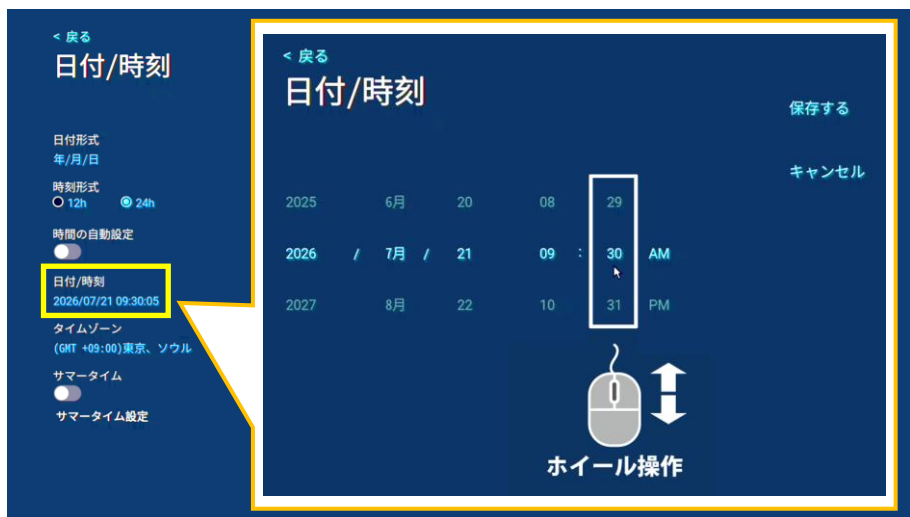
1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。
(ログイン画面表示時、ログイン操作します。)



2. システム設定画面内の[日付/時刻]をクリックします。
日付/時刻画面が表示されます。

【日付/時間画面】

録画装置の日付・時刻の調整、および表示形式を設定します。タイムゾーンは[+09:00]にします。



【手動で時刻を調整する】

1. 時刻の自動設定のスイッチを、左側にスライドしてオフにします。
2. [日付/時刻(青文字部)]をクリックします。日付/時刻画面が表示されます。
3. 変更する[年][月][日][時][分][AM/PM]にマウスを置き、ホイール操作で日付/時刻を合わせます。
4. [保存する]をクリックします。設定が反映されて前の画面に戻ります。
5. [<戻る]をクリックすると、システム設定画面に戻ります。
6. もう一度[<戻る]をクリックすると、ライブ画面に戻ります。

3-8. 録画装置の電源を切る

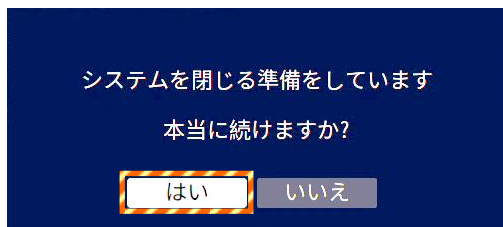
録画装置の使用を終え、電源を切る方法を説明します。

録画装置を長期間使用しない場合は、電源を切断してください。

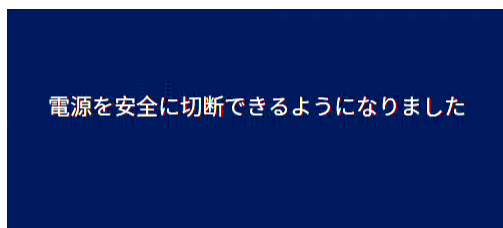
ご注意：以下の手順を踏まえずに電源アダプタを抜くと、録画データ等が消失するおそれがあります。



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[ログダウン]→[電源 OFF]をクリックします。
(ログイン画面表示時、ログイン操作します。)



2. 確認画面が表示されます。
[はい]をクリックすると、シャットダウンします。



3. 「電源を安全に切断できるようになりました」と表示されたら、電源アダプタ（または電源プラグ）を抜きます。



3-9. モニター表示のみを消灯にする場合

モニター表示のみを消灯にします。録画装置は動作(録画)しています。



中央の○ボタンを押すと、モニターは消灯します。
録画装置は動作しており、録画しています。
もう一度、中央の○ボタンを押すと、映像が表示されます。

4. メニューの説明

録画装置のメニューについて説明します。

メニュー画面から設定等を行う場合、ログイン操作（P.17）が必要です。

4-1. メニュー画面の説明

画面内を右クリックすると、表示されるメニュー画面です。設定等を行います。

画面を分割 ▶	… 表示画面数 (1/4/6/8/9/10 分割画面) を設定します	P. 24
ビデオ再生	… 再生を行います	P. 20
カメラ設定	… カメラの設定 (録画モード/動体検知の設定) を行います	P. 28
システム設定	… システム設定画面を表示します	P. 27
CHソート	… カメラ映像の表示位置を変更	P. 25
デバイス診断	… カメラの接続状況を確認	P. 34
ネットワーク	… ネットワーク設定画面を開きます	P. 30
ログダウン ▶	… ログアウト、再起動、電源オフをします	P. 23

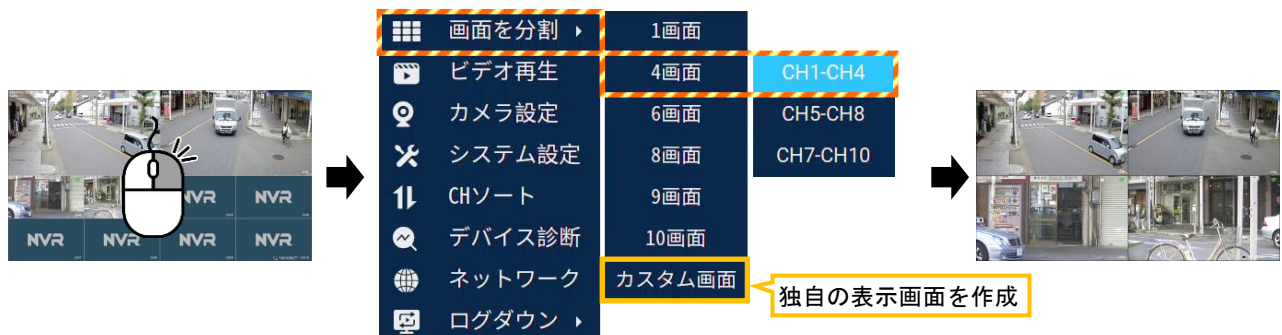
4-2. カメラメニューの説明

カメラ映像内にマウスカーソルを置くと、カメラメニューのアイコンが表示されます。

	全画面表示
	画像設定画面を表示
	音声出力のオン/オフ
	デジタルズーム
	(オプションの)PTZ カメラの操作
	カメラから警報音を出力

4-3. 表示画面数の変更

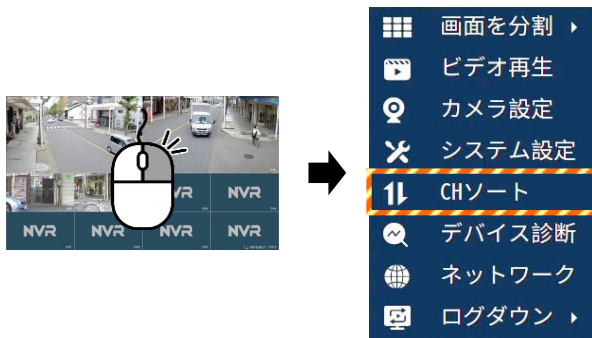
画面上に表示するカメラ映像数を変更できます。



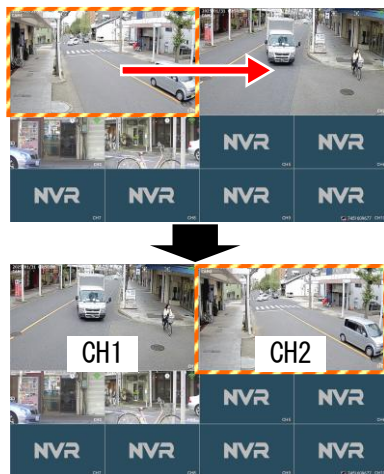
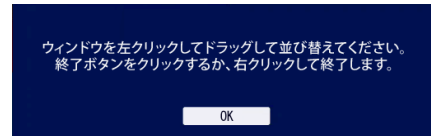
1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[画面を分割]をクリックします。
2. 表示させる画面数(1画面～10画面)をクリックし、表示させるチャンネル番号をクリックします。
3. 設定した画面数でライブ映像が表示されます。

4-4. カメラ映像位置の入れ替え（チャンネル番号の変更）

カメラのチャンネル番号を変更することで、ライブ映像の位置を変更することができます。



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[CH ソート]をクリックします。
(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。) 下図の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

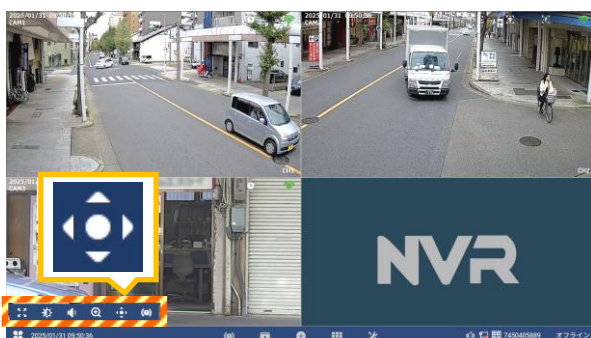


2. 変更したいカメラ映像(チャンネル)を、マウスのドラッグ操作で、移動します。チャンネルが入れ替わります。

4-4. PTZ操作（オプション）

オプションの PTZ 型カメラを設置した場合、PTZ 操作をしてカメラの画角を調整することができます。

PTZ とは、パン(左右操作)・チルト(上下操作)・ズーム(ズームイン/ズームアウト操作)を意味します。



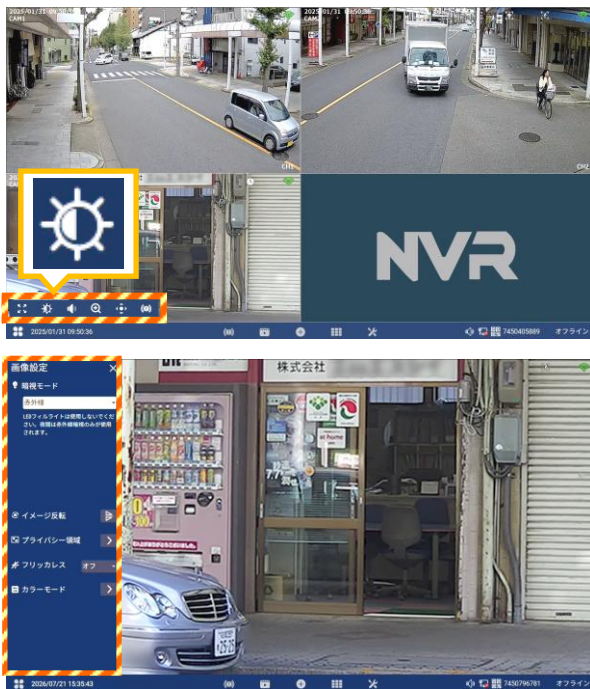
1. 画面内にマウスカーソルを置くと、画面下側にアイコンが表示されます。
2.  アイコンをクリックします。
3. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。



4. PTZ 操作画面が表示され、次の操作ができます。
 - ・[V][^][<][>]をクリックして、上下左右向きを調整
 - ・速度の値を選択して、PTZ 移動速度を設定
 - ・フォーカスとズームの[-][+]をクリックして、フォーカスとズームを調整

4-5. カメラ画像の設定をする

暗視モードの設定、上下反転表示、プライバシー領域、映像の明るさ等を設定することができます。



1. 画面内にマウスカーソルを置くと、画面下側にアイコンが表示されます。
2.  アイコンをクリックします。
3. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。
4. 画面左側に画像設定項目が表示されます。
暗視モード、イメージ反転、プライバシー領域、フリッカ対策、カラーモードを設定できます。設定後、画像設定の右側[×]をクリックします。

■ 画像設定項目の説明

【暗視モード】カメラのライトを点灯させる設定です。

[赤外線]：夜間は赤外線を点灯して白黒映像で表示します。(昼間はカラー映像です。)

[デイ&ナイト]：暗視モードを無効にします。

[白黒]：常に赤外線を点灯し、白黒映像で表示します。

[フルカラー]：夜間に白色 LED を点灯させ、カラー映像で表示します。

[センサーライト]：夜間に赤外線を点灯して白黒映像で表示しますが、人を検知すると白色 LED を点灯させ、カラーで表示します。

【イメージ反転】右側の  をクリックすると、上下反転して映像を表示します。

もう一度クリックすると、元の映像に戻ります。

【プライバシー領域】右側の  をクリックすると、映像を表示しない画面領域を設定します。プライバシー領域を設定する領域を、マウスのドラッグ操作で設定します。青色表示の領域が、プライバシー領域(非表示にする)です。右クリックでメニューを表示し、設定終了や領域のキャンセルをします。



【フリッカレス】蛍光灯等の光によるちらつきを抑える設定です。

ご使用地域の家庭用電源の周波数[50Hz]/[60Hz]を選択します。

【カラーモード】画像の鮮やかさの等のモードを選択します。

[標準]/[鮮やか]/[ソフト]/[カスタム]から選択できます。

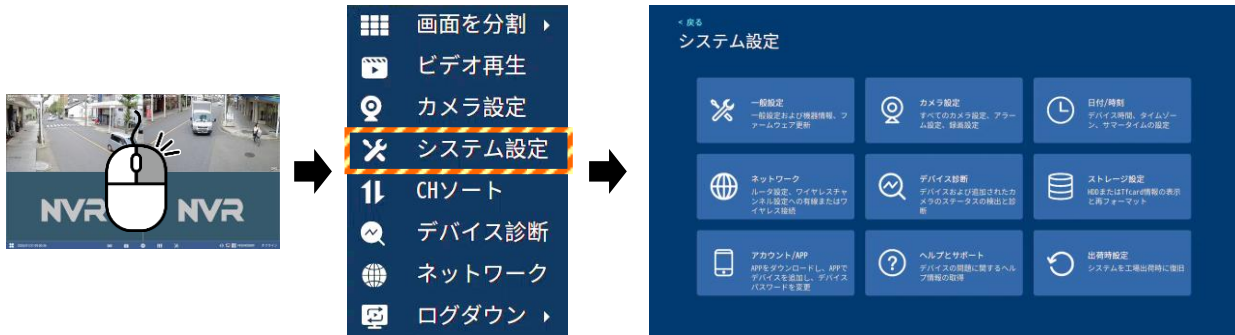
[カスタム]を選択すると、詳細な設定(シャープネス/輝度/飽和/コントラスト比/Hue)ができます。

5. システム設定

本装置のシステム設定を行います。設定画面の開き方は次の通りです。

それぞれの設定画面で設定を変更して確定させる場合、画面右側の[保存する]をクリックします。

【メモ】 5分間操作しない状態が続くと、ライブ映像画面に戻ります。



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。
2. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。
3. システム設定画面が表示されます。

5-1. 一般設定

表示言語の切り替え、出力解像度、音量等を設定できます。



言語：表示言語を切り替えます。（日本語を含む 11 言語に対応）
解像度：映像出力の解像度を設定します。（1080P/1280×1024/1440×900/4K@30Hz）
音声出力方式：音声出力を設定します。（HDMI/Speaker/HDMI+Speaker）
音量：音量を調整します。
デバイス名：他の録画装置と区別する為、任意の名称(英数字)に変更することができます。
ファームウェアのアップグレード：保守用の設定です。通常は使用しません。

5-2. カメラ設定

各チャンネル(カメラ)に対して、録画モード、モーション録画、アラームの設定を行います。
また、カメラの追加や削除の操作ができます。



(CH*)チャンネル：録画モード、モーション検出の ON/OFF、及びアラームの設定状態です。

：チャンネルのタイトル名称(英数字)を変更できます。初期設定時は、「CAM*」です。

：カメラの登録を削除します。

：カメラを追加登録します。

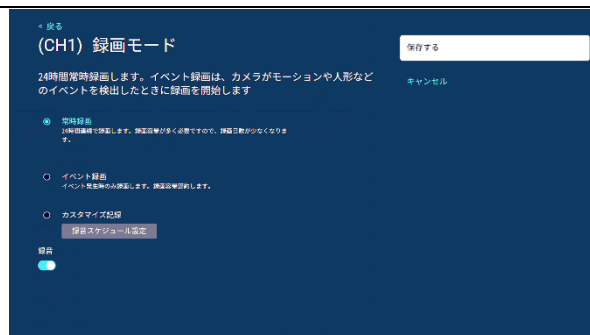
カメラを追加する場合、追加するチャンネルを選択(白色)してから、をクリックします。
追加方法は、「7-2. 録画装置にカメラを登録する」の手順5以降を参照してください。

録画モード：録画モードを設定します。

[常時録画]：24 時間連続で録画します。

[イベント録画]：モーション検知時のみ録画します。

[カスタマイズ記録]：[録画スケジュール設定]をクリックして、「常時録画」・「イベント」・「録画しない」状態を曜日・時間帯別で設定することができます。
画面内の設定後、[保存する]をクリックします。



インテリジェント検出：モーション(イベント)検知を、有効／無効に切り替えます。

インテリジェント検出設定：

イベント検出アラーム設定画面を表示します。

[イベント検出領域]：検出領域を赤枠で設定します。

[感度]：検知感度を5段階で設定します。

[人形検知]：☒を入れると、人の検知を有効にします。

[人形フレームスイッチ]：有効にすると、人の検出時に、画面内に枠で囲われて表示します。

画面内の設定後、[保存する]をクリックします。



音声アラーム：有効にすると、モーション検知時にアラーム音を出力します。

スポットライト警報：有効にすると、モーション検知時にカメラの白色灯が点滅します。

次ページに続く

アラームプッシュ通知：モーション検知時の通知に関する設定ができます。 [APP]と[EMail]を使用する場合、インターネットへの接続が必要です。 また、メール送信はセキュリティ環境により送信できない場合がありますので、ご注意ください。 [APP]：☒を入れると、アプリにアラームプッシュ通知します。 [EMail]：☒を入れると、メールを送信します。([メール設定]からのメール送信設定が必要です。) [全画面表示]：☒を入れると、モーション検知時に全画面表示にします。
アラーム期間：[アラーム期間設定]をクリックすると、検出期間設定画面が表示されます。 モーション検知を有効にする時間帯を設定できます。設定後、[保存する]をクリックします。
ビデオストリーム：[ビデオコードフロー設定]をクリックすると、メインストリームとサブストリームのカメラ解像度、ビットレート、フレームレートが確認できます。 この画面から値は変更できません。ブラウザー画面から変更できます。 メインストリーム：録画装置で見る／保存される映像画質です。 サブストリーム：遠隔(パソコン)で映像を見る場合の映像画質です。
カメラ設定のコピー：現在設定しているカメラ設定を、他のチャンネルのカメラに適用します。 1. [カメラ設定のコピー]をクリックします。 2. コピーするパラメータ(録画モードとアラーム設定)に、☒を入れます。 3. コピーするチャンネル左側の○をクリックして、●にします。 4. 画面右下側の青文字の[適用]をクリックします。設定が反映されます。

5－3．日付・時刻

録画装置の日付・時刻の調整、および表示形式を設定します。タイムゾーンは[+09:00]にします。

ご注意：時刻は定期的に確認してください。必要に応じて時刻を調整してください。

[時刻の自動設定]が有効になっていると、時刻が手動で調整できません。無効にしてください。



日付形式：「年」「月」「日」の表示位置を選択します。[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年]
時間形式：[12h]/[24h]を選択して、12 時間表示／24 時間表示を選択します。
時間自動設定：ネットワーク接続時に有効にすると、タイムサーバーと同期して時刻を調整します。無効にすると、手動で[日付]と[時間]が調整できます。
日付/時刻：「年」、「月」、「日」、「時」、「分」、「AM/PM」を手動で調整できます。
タイムゾーン：タイムゾーンを設定できます。[(GMT+09:00) 東京、ソウル]に合わせてください。
サマータイム：無効にしてください。適用しません。

5-4. ネットワーク

ネットワーク接続をする場合、有線(LAN 接続)またはワイヤレスインターネット接続を設定します。
スマートフォンアプリを利用する場合、インターネット接続が必要です。

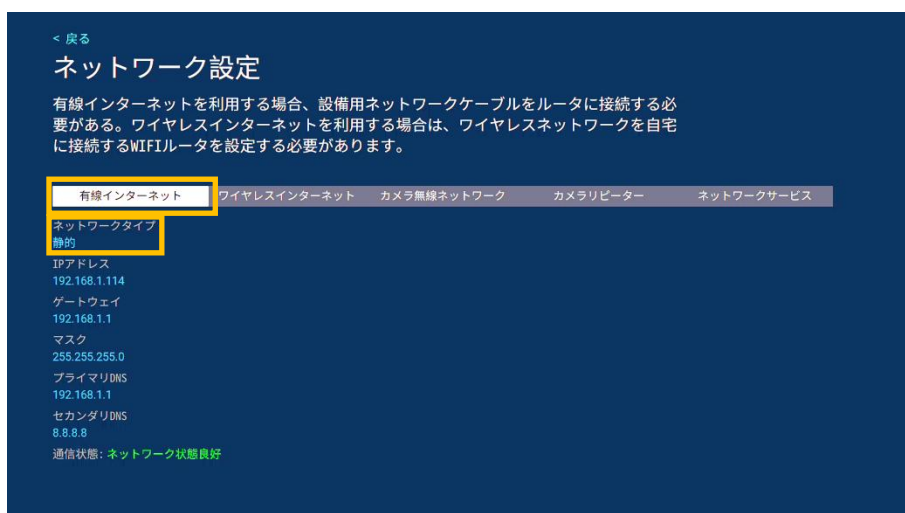
ご注意：ネットワークの設定を変更する場合、必ずネットワーク管理者に確認してください。

正しく設定を行わないと、録画装置にアクセスできなくなるだけでなく、他のネットワーク機器が使用できなくなる恐れがあります。

有線インターネット：LAN ケーブルを接続して、ネットワーク接続する際に設定します。
ワイヤレスインターネット：無線 LAN ルーターに接続して、ネットワーク接続する際に設定します。
カメラ無線ネットワーク：カメラと録画装置間のワイヤレス接続に関する設定です。
カメラリピーター：カメラをリピーター接続(カメラの電波を中継して使用)する際に設定します。
ネットワークサービス：本製品では使用しません。

5-4-1. 有線インターネット

録画装置に LAN ケーブルを接続して、ネットワークに接続する場合の設定画面です。



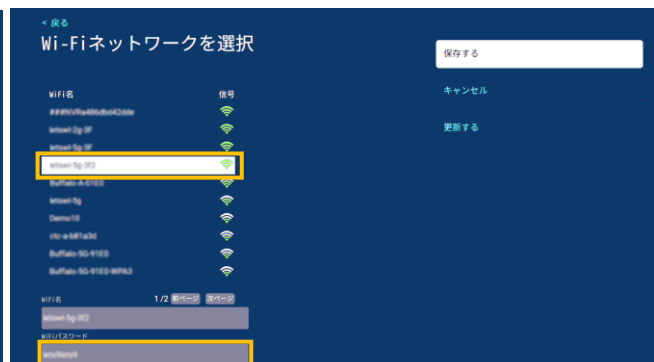
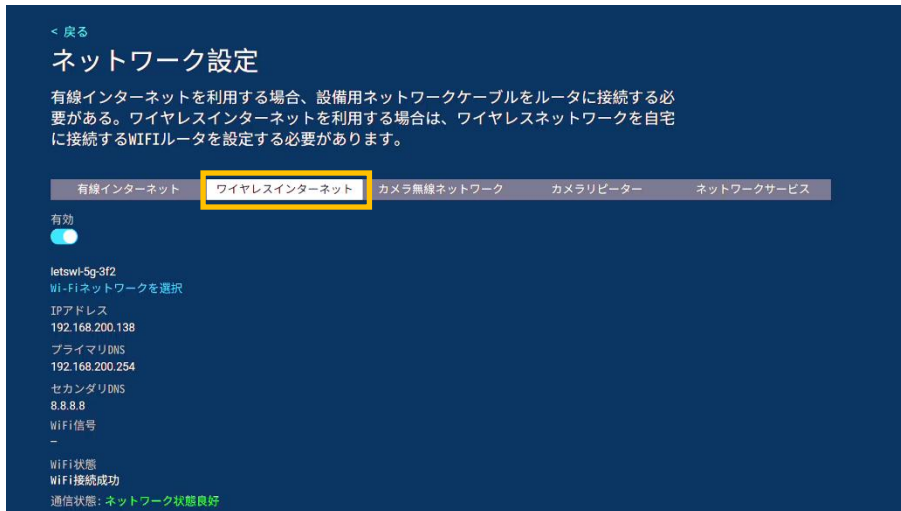
■有線 LAN 接続の設定方法

1. [有線インターネット]タブをクリックします。
2. ネットワークタイプ：[DHCP]または[静的]を選択し、[保存する]をクリックします。
 - ・[DHCP]は、自動でアドレスを割り振ります。　・[静的]は、固定のアドレスを設定します。
3. [静的]を選択した場合、[IP アドレス]、[ゲートウェイ]、[マスク]、[プライマリ DNS]、及び[セカンダリ DNS]のアドレスを設定します。
各画面でアドレス値を変更した場合、[保存する]をクリックします。
4. 通信状態を確認します。接続されている場合、「ネットワーク状態良好」と表示されます。

5-4-2. ワイヤレスインターネット

録画装置を Wi-Fi ネットワークに接続するための設定を行います。

【ご注意】「7-2. 録画装置にカメラを登録する」の操作をする場合、Wi-Fi 接続を一時的に[無効]にしてください。カメラの追加登録後に[有効]にしてください。



■ワイヤレスネットワークの設定方法

1. [ワイヤレスインターネット]タブをクリックします。
2. [有効]のスイッチを入れます。
3. [Wi-Fi ネットワークを選択]をクリックします。
4. Wi-Fi ネットワークを選択画面に、接続可能な Wi-Fi ネットワークの候補が表示されます。
接続する Wi-Fi 名をクリック、Wi-Fi のパスワードを入力後、[保存する]をクリックします。
5. 通信状態を確認します。接続されている場合、「ネットワーク状態良好」と表示されます。

5-4-3. カメラ無線ネットワーク

ワイヤレスネットワーク接続時、Wi-Fi チャンネルを設定できます。

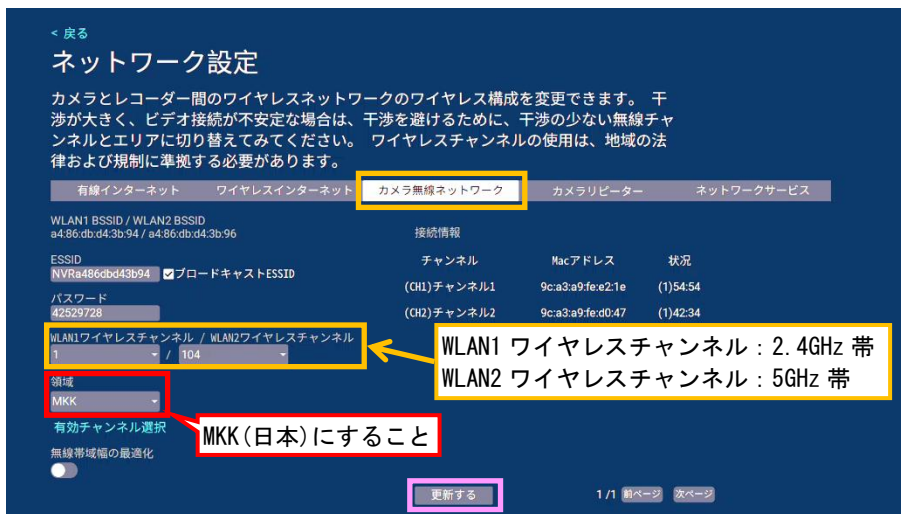
周囲に Wi-Fi 機器があり、カメラ映像表示が不安定の場合、「ワイヤレスチャンネル」のチャンネル番号を変更することで、改善される場合があります。

Wi-Fi アナライザーアプリで、Wi-Fi チャンネルの空き状況を確認してください。

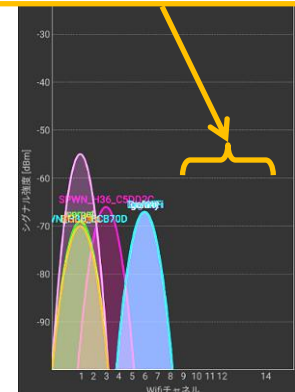
設定後、[更新する]をクリックします。

警告

WLAN2 (5GHz 帯) ワイヤレスチャンネルは、屋外で使用する場合は、100~140ch を使用すること。
36~64ch は、電波法により屋外では使用できません。36~64ch は、屋内のみで使用する。



Wi-Fi アナライザーアプリで
未使用のチャンネルを調べる

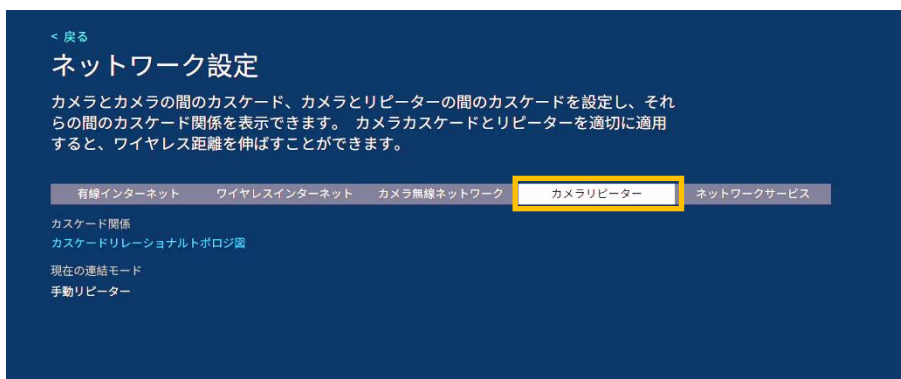


5-4-4. カメラリピーター

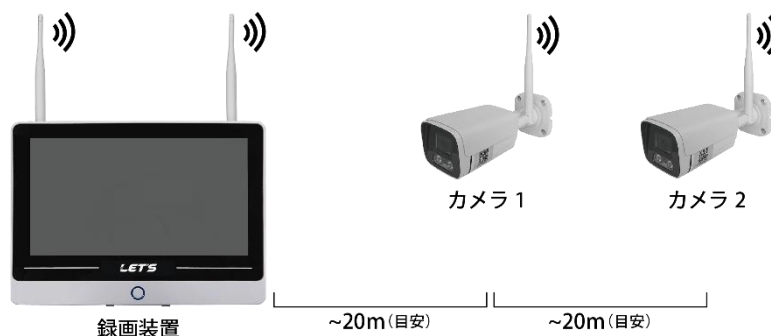
カメラをリピーター接続して設置する場合に設定します。

リピーター接続とは、カメラで電波を中継して使用することにより、離れた距離でも使用できます。

[カスケードリレーショナルポロジ図]をクリックすると、設定できます。



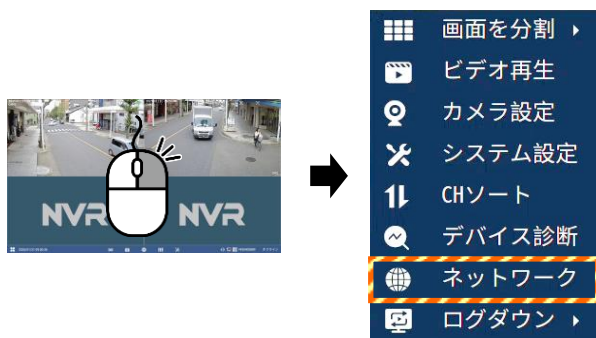
下図は、リピーター接続の設置イメージです。カメラ 2 は、カメラ 1 を経由して録画装置と接続します。



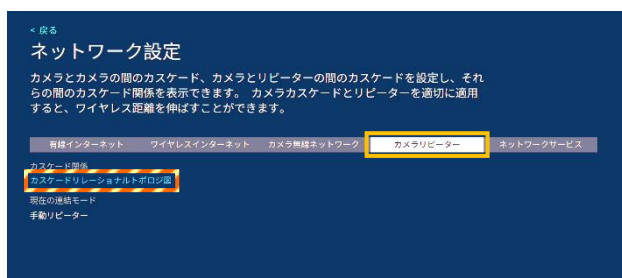
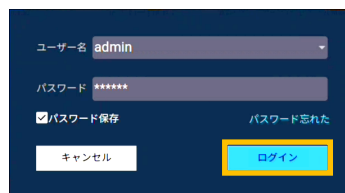
■リピーター接続の設定方法

例をして、カメラ2を、カメラ1を経由してリピーター接続をする方法です。

- 【メモ】**
- ・カメラを設置する前に、電波が届く箇所にカメラを仮置きしてから設定してください。
 - ・カメラ2をカメラ1経由で接続する場合、カメラ1が電源オフや電波が届かない等で接続できない場合、カメラ2も接続できなくなります。

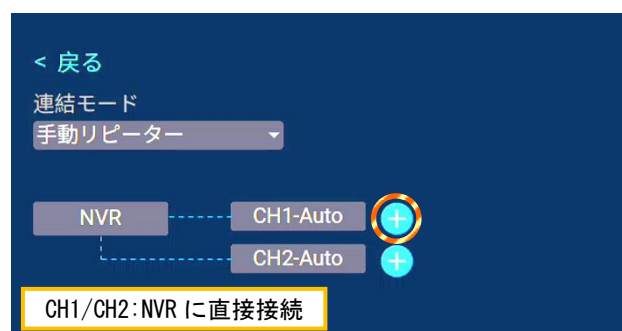


1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[ネットワーク]をクリックします。
2. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。



3. ネットワーク設定画面が表示されます。
[カメラリピーター]タブをクリックします。

4. [カスケードリレーショナルポロジ図]を、クリックします。



5. リピーター設定画面が表示されます。
左図の場合、CH1 と CH2 のそれぞれが NVR (録画装置) にワイヤレスで接続されています。
(出荷時の設定です。)



6. [CH1-Auto]の右側の + をクリックして、[CH2]を選択します。

7. [CH1-Auto]の右側に、[CH2-Auto]が表示されます。



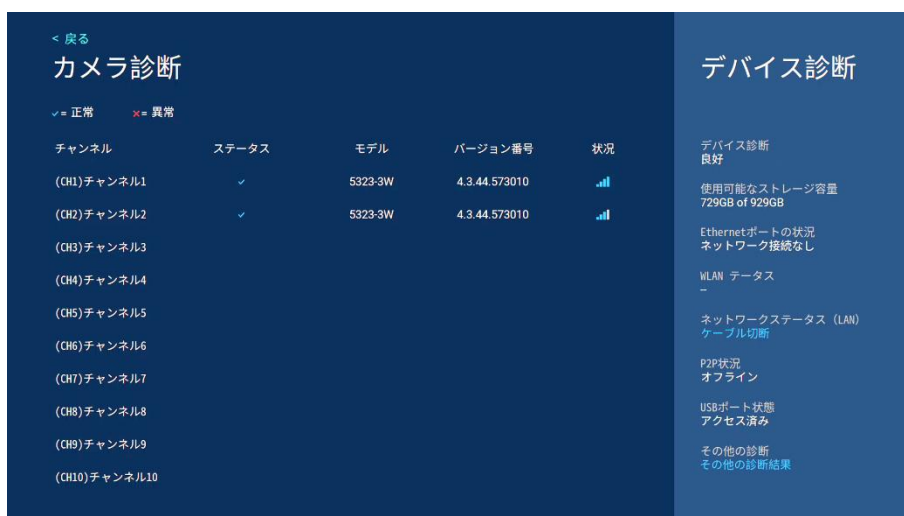
8. [保存する]をクリックして、リピーター接続を確定させます。

CH1 は NVR に直接接続されています。

CH2 は CH1 を経由して NVR に接続されています。

5-5. デバイス診断

カメラ、および録画装置の状態が確認できます。



カメラ診断：

各チャンネルに登録されているカメラの接続状態、モデル名、バージョン、電波強度が表示されます。

デバイス診断：

上から、録画装置の動作状態、ストレージ(HDD)使用状況、Ethernet (LAN 端子)接続状態、Wi-Fi 接続状態、ネットワーク接続状態、P2P 接続状態、USB 端子の状態が表示されます。

[その他の診断結果]をクリックすると、各チャンネルの通信状態が確認できます。

5-6. ストレージ設定

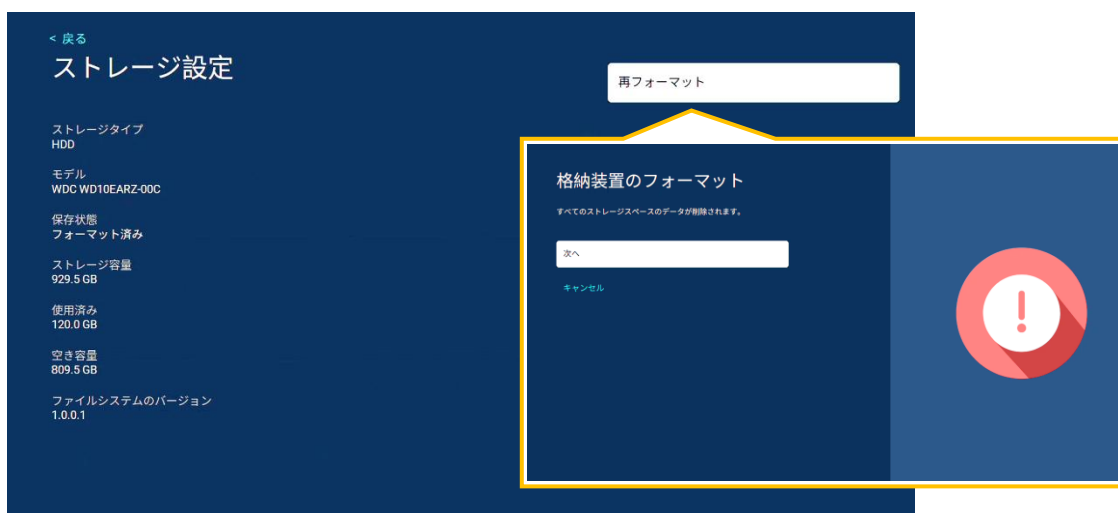
内蔵 HDD の状態の確認、及び HDD のフォーマットができます。

ストレージのタイプ、ストレージの型番、保存状態、ストレージ容量、使用容量、及び空き容量が確認できます。

■ 内蔵 HDD のフォーマット

1. 右側の[再フォーマット]をクリックすると、格納装置のフォーマット画面が表示されます。
2. [次へ]をクリックすると、フォーマットを開始し、全ての録画映像データを削除します。

【メモ】録画データの一部を選択して削除することはできません。全ての録画データを削除します。



5-7. アカウント・APP

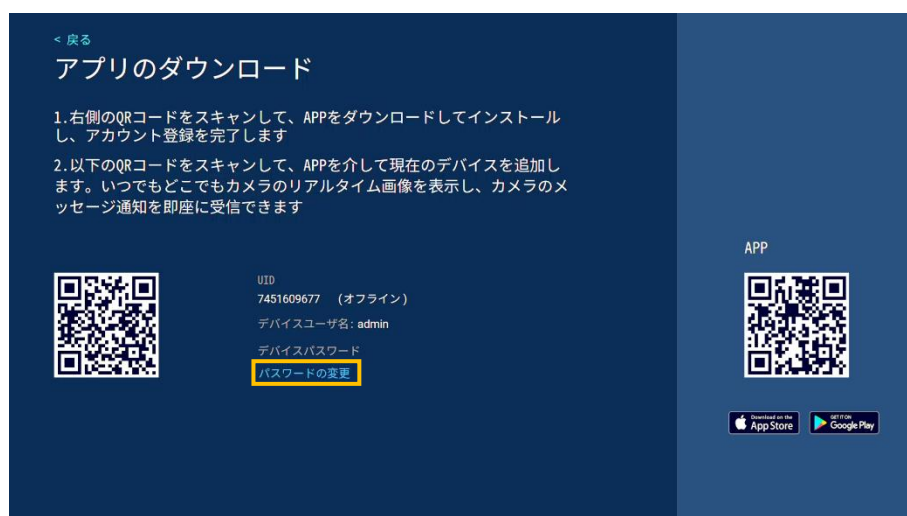
録画装置のログインパスワードが変更できます。

ログイン操作方法は、「3-2. ログイン操作」を参照してください。

また、録画装置の映像を閲覧できるスマートフォン用のアプリのダウンロード先にアクセスできます。

【ご注意】パスワードを出荷時のパスワードから、複雑なパスワードに設定することを強く推奨します。パスワードを設定・変更した際、設定したパスワードは忘れないようにメモをしてください。パスワードを設定しないと、映像が外部に流出するおそれがあります。

【ご注意】本装置で使用するアプリは、弊社開発のアプリでなく、フリー（無料）で利用できるアプリです。従って、アプリについて弊社でのサポートは致しかねますのでご了承ください。アプリの仕様・動作については、アプリの開発者（デベロッパー）に問い合わせてください。



5-8. 出荷時設定

録画装置を工場出荷時状態に戻すことができます。実行後、初期設定を行います。

また、本装置の設定を USB メモリに保存または呼び出すことができます。

[エクスポートの構成]：設定を USB メモリにエクスポートします。

[インポートの構成]：USB メモリに保存した設定ファイル(NVR. config)を本装置に反映させます。



1. [工場出荷時の設定を復元]をクリックします。

カメラの登録を削除する場合、[追加カメラの削除]を選択してから、[工場出荷時の設定を復元]をクリックします。



2. 工場出荷時の設定を復元画面が表示されます。
[次へ]をクリックします。



3. 工場出荷時の設定を復元…画面が表示されます。
復元を開始します。
お待ちください。



4. 「最高の解像度に切り替えます…」画面が表示された場合、[はい]をクリックします。
5. 言語の選択画面が表示されます。
表示言語を選択します。
[日本語]を選択し、[次へ]をクリックします。



6. ネットワーク設定画面が表示されます。
[次へ]をクリックします。
この画面で、ネットワーク接続の設定を行うことができます。

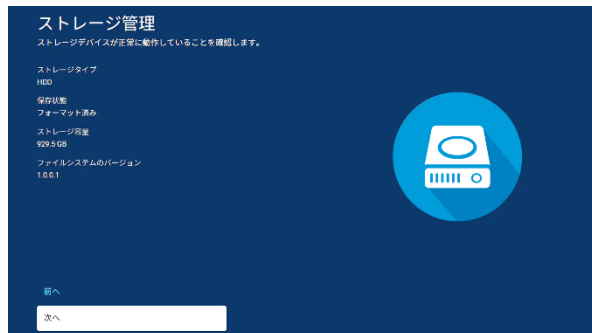


7. 日付/時刻画面が表示されます。

日付、時間、タイムゾーンを調整します。

タイムゾーンは、「(GMT +08:00) 北京、香港」から「(GMT +09:00) 東京、ソウル」に変更します。

設定後、[次へ]をクリックします。



8. ストレージ管理画面が表示されます。

接続されている HDD 情報を確認できます。

確認後、[次へ]をクリックします。



9. カメラのライブ画面を表示

接続(登録)されているカメラ映像が表示されます。確認後、[次へ]をクリックします。

接続されていないカメラは、後で、カメラの追加登録を行います。



10. パスワードの設定画面が表示されます。

パスワードを設定します。

英数字の 6～19 文字内で設定します。

設定後、[次へ]をクリックします。

【ご注意】設定したパスワードは、忘れないようにメモをしてください。



11. アプリのダウンロード画面が表示されます。

APP の二次元コードを読み取ると、録画装置の映像を閲覧できるスマートフォン用のアプリのダウンロード先にアクセスできます。

[完了]をクリックします。

12. 復元を完了し、ライブ映像画面が表示されます。

6. パソコンで映像を確認する

ネットワークに接続した録画装置を、Windows パソコンのウェブブラウザ（Internet Explorer）でライブ映像が確認できる「Network video client」の操作方法について説明します。

ご注意：ウェブブラウザは、Internet Explorer または Microsoft Edge の「Internet Explorer モード」を使用してください。Google Chrome は使用できません。

映像の確認するためには、高速の通信環境下で使用してください。

なお、Windows 10 では、2022 年 6 月 15 日に、マイクロソフト社による Internet Explorer 11 のサポートが終了しました。以降、Microsoft Edge の Internet Explorer モードを使用してください。（詳細は、6-3 項を参照してください）

6-1. ネットワークの接続

パソコンで映像を確認するためには、ネットワークへの接続が必要です。下記の事項をご確認ください。

◆家庭(会社)内の LAN に接続したパソコンで、録画装置の映像を確認する場合

- ・録画装置に、プライベート IP アドレスを設定します。
- ・ご使用している他の機器と IP アドレスが競合しないように設定します。

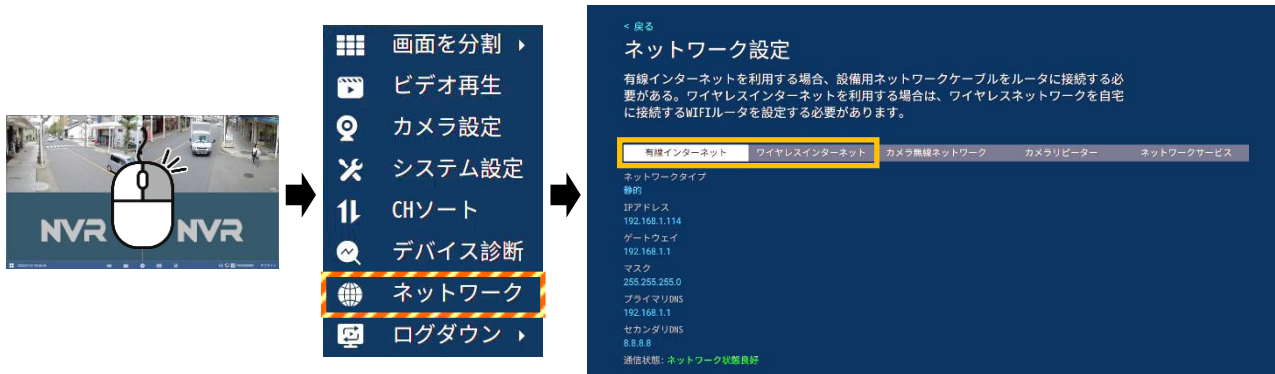
※プライベート IP アドレスとは、組織内や家庭内などのローカルネットワーク内で機器を識別するために使用される IP アドレスのことです。インターネット上では直接使用されず、ルーターなどを経由してグローバル IP アドレスに変換されて通信を行います。

◆外部のパソコンから、録画装置の映像を確認する場合

- ・録画装置に、グローバル IP アドレスを設定します。
- ・グローバル IP アドレスの取得については、ご契約のプロバイダ業者に問い合わせてください。

※グローバル IP アドレスとは、インターネットに接続された機器に割り当てられる、世界で一つだけの IP アドレスのことです。グローバル IP アドレスを取得するには、一般的にはインターネットサービスプロバイダとの契約を通じて取得します。

◆録画装置のネットワークの設定（IP アドレスの設定）



1. ライブ映像から右クリックして、メニューを表示させ、[ネットワーク]をクリックします。
 2. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。
 3. ネットワーク設定画面が表示されます。
 4. 有線でネットワーク接続する場合、[有線インターネット]タブを、Wi-Fi でネットワーク接続する場合、[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックして設定します。
- ネットワークの設定は、「5-4. ネットワーク」を参照してください。

◆信頼済みサイトへの登録

Internet Explorer で、録画装置の IP アドレスを、信頼済みサイトとして登録する必要があります。

画面右上側の  アイコン⇒[インターネットオプション]⇒[セキュリティ]⇒[信頼済みサイト]画面⇒[サイト]をクリックし、録画装置に登録する IP アドレスを追加します。

6-2. Network video client の起動方法 (Internet Explorer)

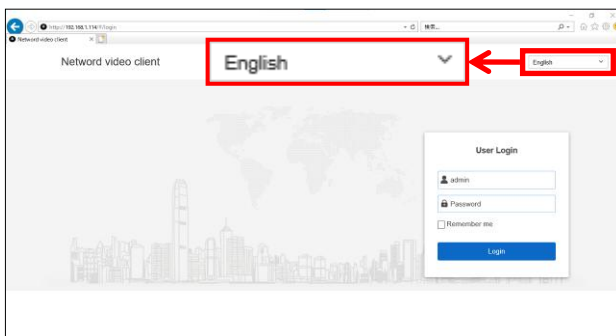
Internet Explorer をご使用する場合の起動方法です。



1. Internet Explorer を起動し、アドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力します。

※録画装置の IP アドレスは、メニューから[ネットワーク]をクリックして、ネットワーク設定画面(左図)を表示させます。

[有線インターネット]タブ、または[ワイヤレスネットワーク]タブを開くと、設定されている IP アドレスが表示されます。



2. Network video client の画面が表示されます。右上側のドロップダウンリストで、[English]を選択します。

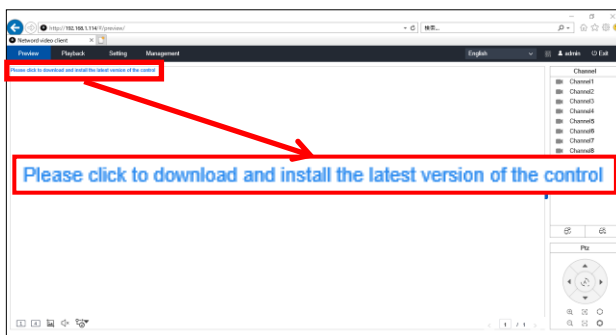
【メモ】日本語表示はできません。



3. 録画装置で設定されている「ユーザー名」、
「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。

ユーザー名を「admin」、パスワードを入力して、ログインします。

工場出荷時のパスワードは「123456」です。



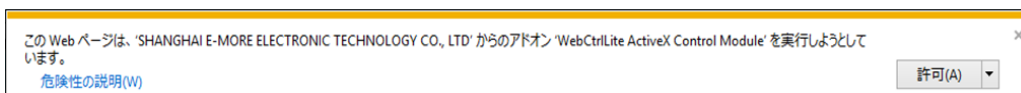
4. 始めてログインした場合、映像が表示されません。プラグインのインストールが必要です。

「Please click to download and install the latest version of the control.」

をクリックします。

2 回目以降にログインした場合、カメラ映像が表示されます。

5. 画面下側に、「この Web ページは、……のアドオン “WebCtrlLite ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合、[許可]をクリックします。

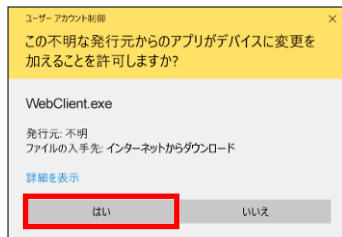


6. 画面下側に、「XXX. XXX. XXX. XXX から WebClient.exe を実行または保存しますか？」と表示されます。[実行]または[保存]をクリックします。

IE モードで開いている場合、[保存]をクリックして、[WebClient.exe]を保存します。



7. 画面下側に、「WebClient.exe の発行元を確認できませんでした。このプログラムを実行しますか？」と表示された場合、[実行]をクリックします。

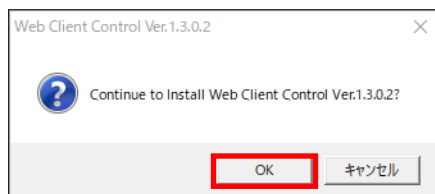


8. 手順 7 で実行を選択した場合、プラグインのインストールを開始します。

手順 7 で保存を選択した場合、

[WebClient.exe]をダブルクリックします。

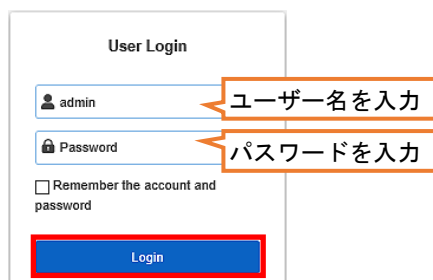
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックします。



9. Web Client Control 画面が表示されます。

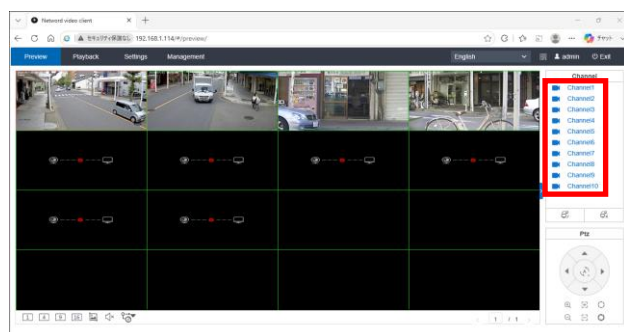
[OK]をクリックします。

インストールを実行します。



10. インストールが終わったら、一旦 Internet Explorer を閉じます。

11. もう一度、Internet Explorer を起動して、ログインします。(手順 1 から 4 の操作を参照)



12. プレビュー画面が表示されます。

画面右側のチャンネル番号をクリックする(灰色から青色)と、カメラ映像が表示されます。

【メモ】 Internet Explorer の「セキュリティ」の状態により、映像が映らない場合があります。

その際、Internet Explorer の  をクリックして、インターネットのプロパティ画面※を開き、[インターネットオプション]→[セキュリティ]タブ→[レベルのカスタマイズ]をクリックして、ActiveX コントロールとプラグインの設定 ([ActiveX コントロールとプラグインの実行]と[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行])を有効にしてください。

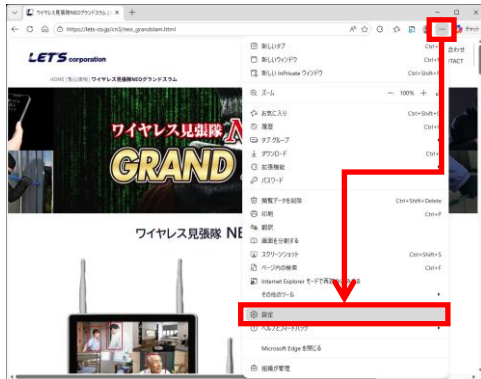
※Windows タスクバーの検索ボックスに「インターネットオプション」と入力して、「インターネットのプロパティ」画面を表示させることができます。

6-3. Internet Explorer モードで起動する

マイクロソフト社は、2022 年 6 月 15 日で Internet Explorer 11 のサポートを終了しています。Microsoft Edge の Internet Explorer モード (IE モード) を使用することで、映像を確認できます。以下の手順は、Windows11 で説明していますが、Windows10 でも同様の操作で設定できます。

6-3-1. IE モードの読み込みを許可する

「Internet Explorer モード」を有効にすると、Microsoft Edge の右上に表示される [...] メニューに「Internet Explorer モードで再読み込みする」が追加されます。



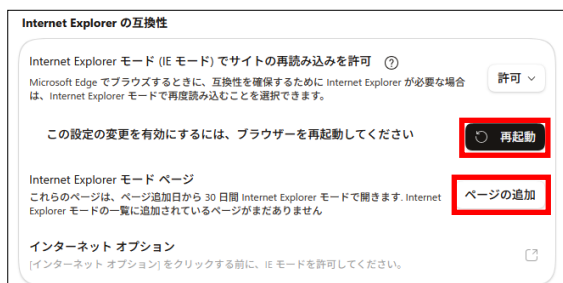
1. Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、メニューが表示されたら、「設定」をクリックします。



2. 「設定」メニュー左側の「既定のブラウザー」をクリックします。画面右側に「Internet Explorer の互換性」メニューが表示されます。



3. Internet Explorer の互換性メニューの「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」設定を、「許可」に変更します。



4. 設定を変更後、「再起動」をクリックすると、設定が反映した状態で Microsoft Edge が再起動します。

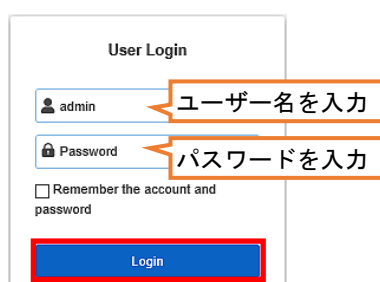
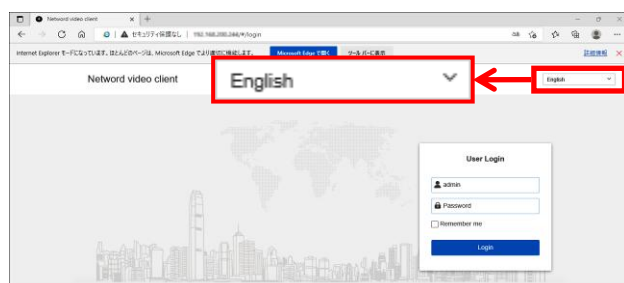
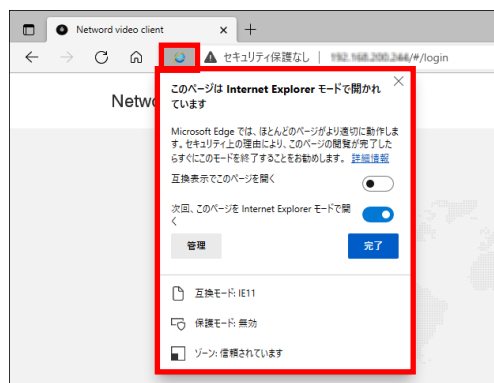
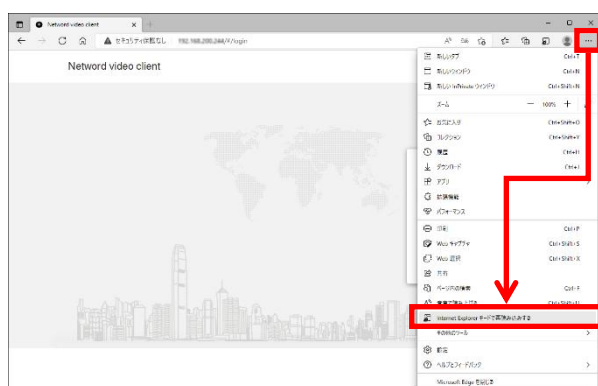


5. 再起動後、同じページを開き、「ページの追加」をクリックします。ページの追加画面が開きます。録画装置の IP アドレスを入力して、「追加」をクリックします。



6-3-2. IEモードで開く

Microsoft Edge で録画装置の IP アドレスを入力後、Internet Explorer モードで表示させます。
パソコンから録画装置へ初めて接続する場合、プラグインのインストールを実行します。



- 録画装置の IP アドレスが登録されます。

IP モードページが開く設定は 30 日間使用できます。

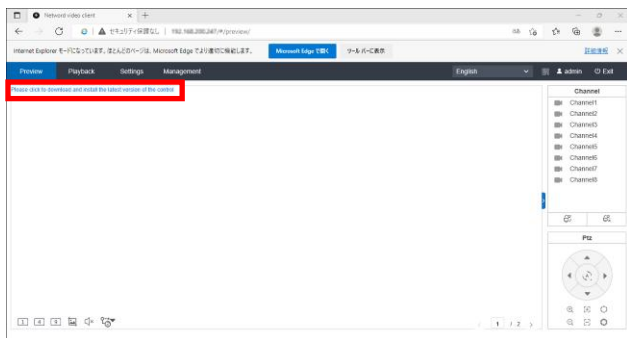
引き続き IE モードを使用する場合は、同様の設定を行います。

- Microsoft Edge のアドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力して、ブラウザを開きます。
- Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、[Internet Explorer モードで再読み込みする] をクリックすると、Microsoft Edge が Internet Explorer モードで開きます。
- 「このページは Internet Explorer モードで開かれています」の画面が表示されます。
[完了]をクリックします。

- Network video client の画面が表示されます。
右上側のドロップダウンリストで、[English]を選択します。

【メモ】日本語表示はできません。

- 録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。
ユーザー名を「admin」、パスワードを入力して、ログインします。
工場出荷時のパスワードは「123456」です。



6. 始めてログインした場合、映像が表示されません。プラグインのインストールが必要です。

「Please click to download and install the latest version of the control.」

をクリックします。

プラグインのインストール後にログインした場合、プレビュー画面(手順 14)が表示されます。

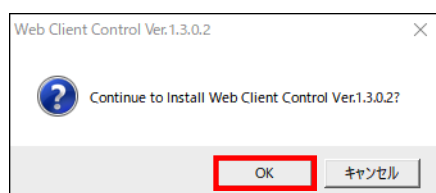
7. 画面下側に、「XXX. XXX. XXX. XXX から WebClient.exe を実行または保存しますか?」と表示されます。[保存]をクリックします。



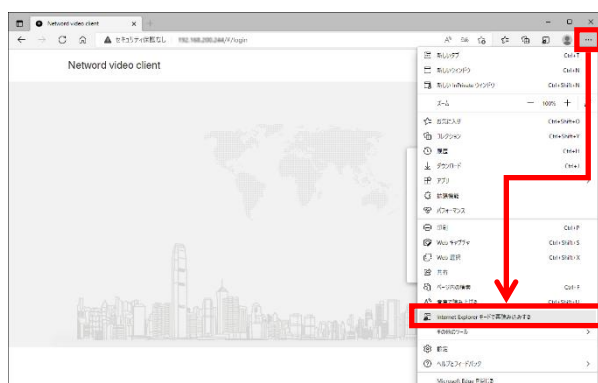
8. 画面下側に、「WebClient.exe のダウンロードが完了しました。」と表示された場合、[ダウンロードの表示]をクリックします。([フォルダーを開く]でも可です。)



9. ダウンロードの表示画面から、ダウンロードしたファイル「WebClient.exe」の[実行]をクリックします。



10. 左図の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。インストールを開始します。(黒い画面が一瞬表示されます。) ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックします。



11. Microsoft Edge を再起動して、アドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力します。

12. Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、[Internet Explorer モードで再読み込み]をクリックして、Internet Explorer モードで開きます。



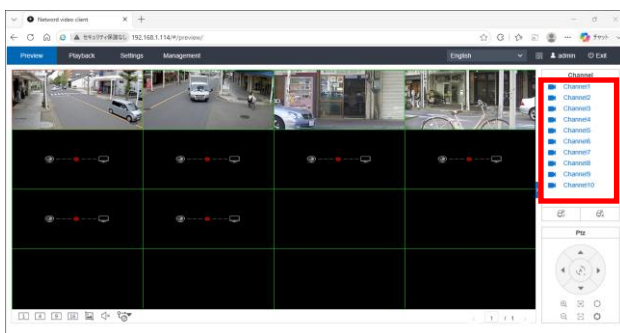
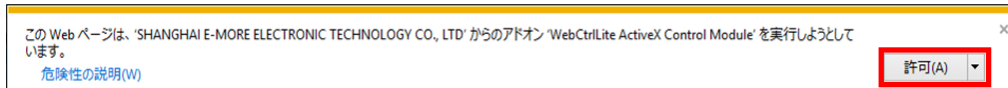
13. 「このページは Internet Explorer モードで開かれています」の画面が表示されます。「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を [オン] (右側) にします。その後、[完了]をクリックします。

User Login

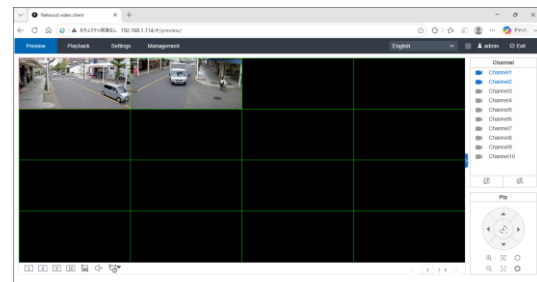
ユーザー名を入力
 パスワードを入力
☐ Remember the account and password

14. 再度、録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。

15. 画面下側に、「この Web ページは、……からのアドオン “WebCtrlLite ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合、[許可]をクリックします。



16. プレビュー画面が表示されます。
画面右側のチャンネル番号をクリックする(灰色から青色)と、カメラ映像が表示されます。



■IE モードの画面表示バーについて

Internet Explorer モードで開くと、アドレスバーの下に「Internet Explorer モードになっています。ほとんどのページは、Microsoft Edge でより適切に機能します。」と表示されます。

- ・[Microsoft Edge で開く] ボタンをクリックすると、Internet Explorer モードを終了し、Microsoft Edge での表示に切り替わります。
- ・[ツールバーに表示] ボタンをクリックすると、右上のツールバーに [Internet Explorer モード切替] ボタンが表示されるようになります。
 - ・ Internet Explorer モードの終了タブ
 - ・ Internet Explorer モードのリロードタブ
- ・[×] ボタンをクリックすると、このバーを非表示にします。



Internet Explorer モード切替ボタンを非表示にする場合は、アイコン上で右クリックすることで非表示にできます。

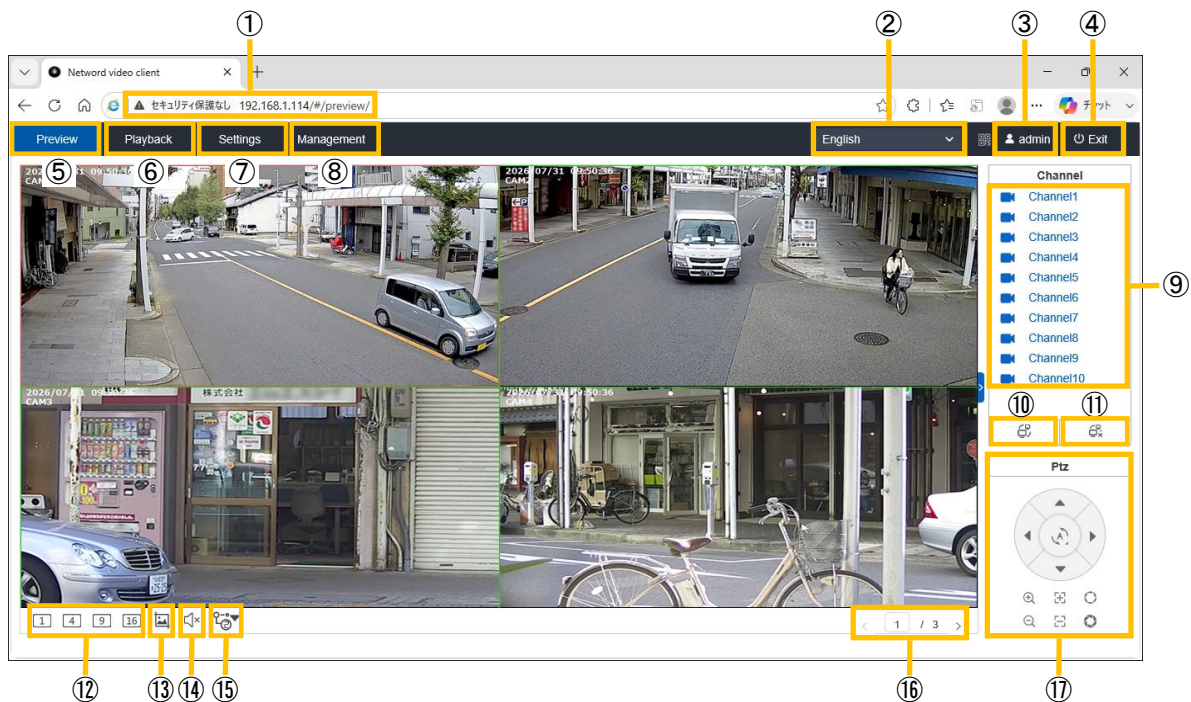
6-4. Network video client の画面

ログインすると、この画面が表示されます。

Network video client は、英語で表示されます。日本語に変更できません。ご了承ください。

6-4-1. Preview画面

ライブ映像を表示します。



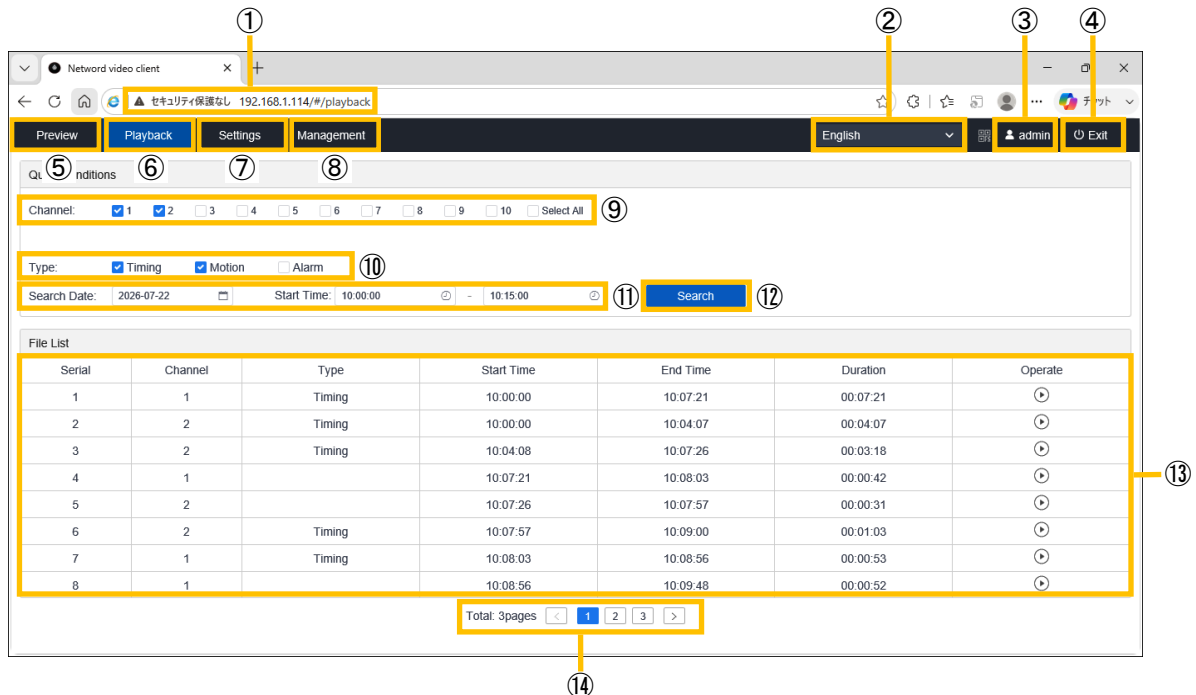
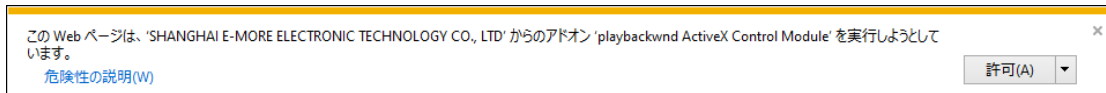
- | |
|---|
| ① 録画装置に設定した IP アドレスを入力します。 |
| ② この画面の表示言語 (英語/中国語) を切り替えます。 |
| ③ 現在ログインしているユーザー名を表示します。 |
| ④ ログアウトします。 |
| ⑤ Preview 画面 (上図の画面) に切り替えます。カメラのライブ映像が表示されます。 |
| ⑥ Playback 画面 (再生画面) に切り替えます。 |
| ⑦ Settings 画面 (設定画面) に切り替えます。 |
| ⑧ 本装置では使用しないでください。Management 画面 (カメラ登録) に切り替えます。 |
| ⑨ 各チャンネルの映像を、表示 (青色) / 非表示 (灰色) に切り替えます。 |
| ⑩ 全チャンネルの映像を表示します。 |
| ⑪ 全チャンネルの映像を非表示します。 |
| ⑫ 表示画面数を切り替えます。(1 画面 / 4 画面 / 9 画面 / 16 画面) |
| ⑬ クリックすると、選択画面のスナップショットと撮影します。 |
| ⑭ 選択した画面の音声出力をオン/オフします。 |
| ⑮ 表示されているストリーム (①: 主映像 (高速回線用) / ②: 副映像 (モバイル回線用)) です。 |
| ⑯ ページ数を表示します。複数ページの画面がある場合、[<] / [>] をクリックして切り替えます。 |
| ⑰ オプションの PTZ 型カメラを選択 (赤枠) している場合、全画面表示にすると PTZ 操作ができます。 |

6-4-2. Playback画面

録画されている映像を再生できます。

本装置を高速回線で接続されていない場合、再生できない場合があります。

【メモ】Playback 画面を始めて表示させた場合、画面下側に、「この Web ページは、……のアドオン
“playbackwnd ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合は、
[許可]をクリックします。

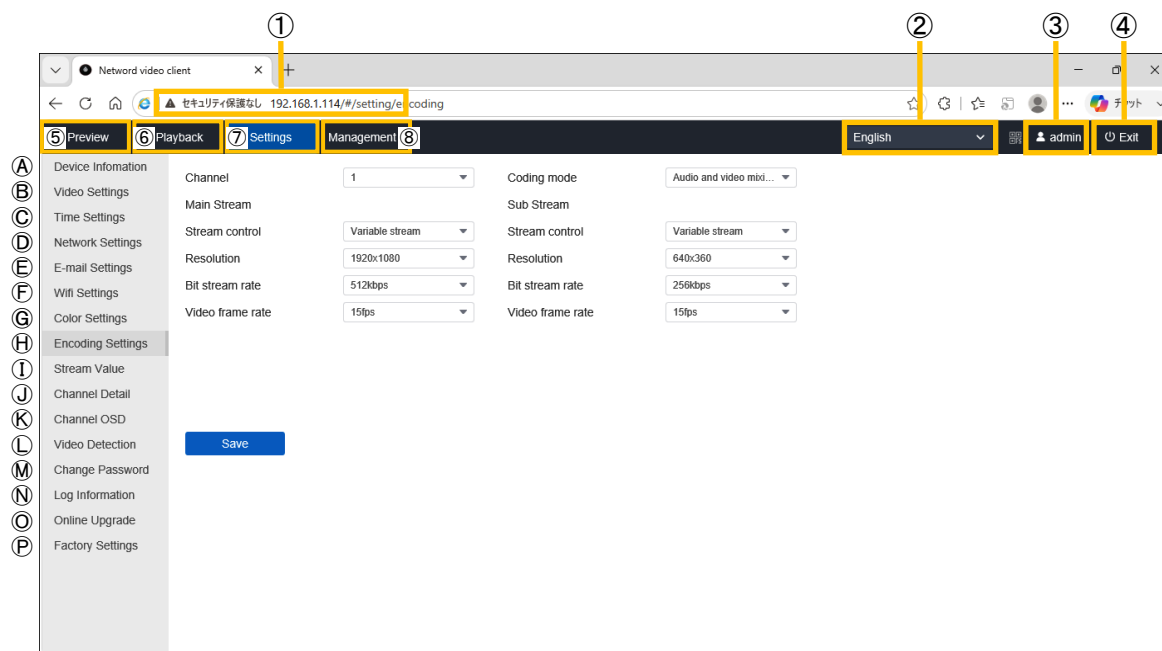


- ① 録画装置に設定した IP アドレスを入力します。
- ② この画面の表示言語 (英語/中国語) を切り替えます。
- ③ 現在ログインしているユーザー名を表示します。
- ④ ログアウトします。
- ⑤ Preview 画面 (ライブ映像を表示) に切り替えます。
- ⑥ Playback 画面 (上図の画面) に切り替えます。録画されている映像を再生します。
- ⑦ Settings 画面 (設定画面) に切り替えます。
- ⑧ 本装置では使用しないでください。Management 画面 (カメラ登録) に切り替えます。
- ⑨ 再生するチャンネル番号に ☒ を入れます。
- ⑩ 再生する録画種類 (Timing: スケジュール、Motion: モーション) に ☒ を入れます。
- ⑪ 再生する時間帯を設定します。
- ⑫ [Search] をクリックすると、⑨、⑩、⑪ で設定した条件で検索します。
- ⑬ ⑫ で検索した結果が表示されます。▶ をクリックすると、再生を開始します。
- ⑭ ページ数を表示します。複数ページの画面がある場合、[<]/[>] をクリックして切り替えます。

6-4-3. Settings画面

録画装置の設定の確認、及び変更ができます。

設定を変更した場合、[Save]をクリックしてください。設定を反映されます。



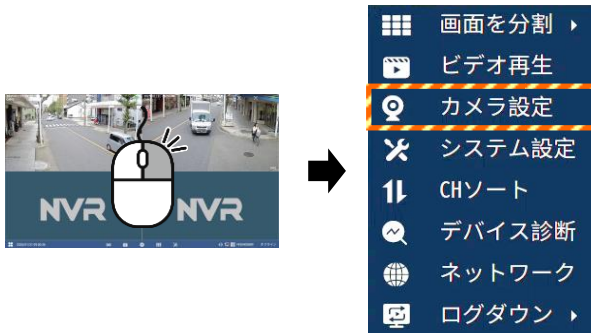
①	録画装置に設定した IP アドレスを入力します。
②	この画面の表示言語(英語/中国語)を切り替えます。
③	現在ログインしているユーザー名を表示します。
④	ログアウトします。
⑤	Preview 画面(ライブ映像を表示)に切り替えます。
⑥	Playback 画面に切り替えます。録画されている映像を再生します。
⑦	Settings 画面(上図の画面)に切り替えます。
⑧	本装置では使用しないでください。Management 画面(カメラ登録)に切り替えます。
(A)	Device Information 本装置のシリアル番号やファームウェアのバージョン等が表示されます。
(B)	Video Settings 録画スケジュールを設定します。(時間とモーション録画時間帯の設定)
(C)	Time Settings 日付時刻を調整します。
(D)	Network Settings ネットワークパラメータを設定します。
(E)	E-mail Settings E メール送信するための設定をします。
(F)	Wifi Settings 無線チャンネルを設定します。
(G)	Color Settings 各カメラ映像の色彩を設定します。
(H)	Encoding Settings 各カメラの解像度(Resolution)、ビットレート値(Bit stream rate)、フレームレート値(Video frame rate)を設定します。
(I)	Stream Value 現在の各チャンネルの通信量を確認します。
(J)	Channel Detail カメラの解像度とソフトウェアのバージョンを確認します。
(K)	Channel OSD チャンネル番号の表示名の設定をします。
(L)	Video Detection モーション検知を設定します。チャンネル毎に設定します。 検知時の通知方法を☑で選択、感度、検知エリア、検知スケジュールを設定します。
(M)	Change Password 管理者パスワードを変更します。
(N)	Log Information ログ(履歴)を検索します。
(O)	Online Upgrade 本装置では使用しません。
(P)	Factory Settings 工場出荷時の状態に戻します。

7. その他の操作

7-1. カメラの登録を削除する

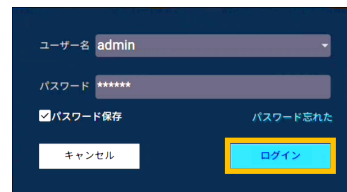
カメラが故障等により他のカメラと交換する場合、録画装置から故障した(使用しない)カメラの登録を削除します。

ご注意：誤って操作すると、他のカメラ映像が映らなくなりますので注意して操作してください。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[カメラ設定]をクリックします。

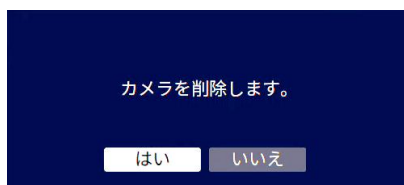
2. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。



3. カメラ設定画面が表示されます。



4. 削除するチャンネル(カメラ)を選択し、
削除アイコンをクリックします。



5. カメラを削除します画面が表示されます。
[はい]をクリックします。



6. チャンネルの情報が削除されます。
録画モード等の設定内容が削除されます。
確認後、[<戻る]をクリックします。

7. システム設定メニュー画面に戻ります。
[<戻る]をクリックします。



8. ライブ映像画面に戻ります。
該当チャンネルは、「NVR」と表示され、未設定のチャンネルとなります。

7-2. 録画装置にカメラを登録する

本装置の構成品としてカメラが2台／4台用意されています。ソフトウェアの仕様上、最大10台のカメラが登録できますが、ワイヤレス接続で7台以上の登録は推奨しません。

新しいカメラを設置する場合、以下のように1台ずつ録画装置に登録する作業を行います。

【ご注意】カメラを多く接続すると、映像伝送量が多くなります。

電波環境が悪くなると映像が途切れたり、遅延したりする可能性がより高くなります。

【ご注意】カメラの追加操作時のみ、録画装置のWi-Fi接続を[無効]にしてください。

Wi-Fi接続の操作は、「5-4-2. ワイヤレスインターネット」を参照してください。



1. 追加のカメラに、電源アダプタを接続し、電源を入れます。まだ、設置しないでください。

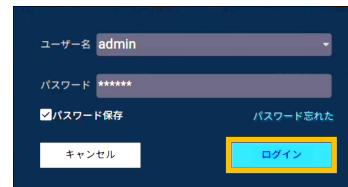
2. LAN端子のないカメラの場合、録画装置から1m以内の場所に置いて電源を入れます。その後、リセットスイッチを長押ししてリセットすることで、録画装置側がカメラを検出します。

LAN端子のあるカメラの場合、録画装置のLAN端子間を、LANケーブルで接続します。



3. ライブ映像画面のカメラを追加する画面内にマウスを移動して、[+]をクリックします。

4. ログイン画面表示時、ログイン操作をします。

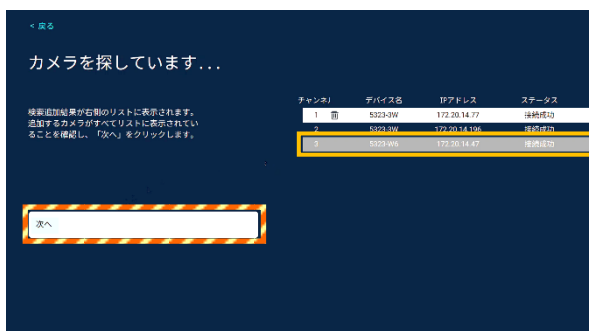


5. 「カメラの電源投入」画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



6. 「カメラを探しています…」画面が表示されます。カメラが検索されると、リストに表示されます。

確認後、[次へ]をクリックします。





7. 「カメラのライブ画面を表示」画面が表示されます。
画面右側に、追加したカメラ映像が表示されることを確認してから、[次へ]をクリックします。

8. ライブ映像に追加したカメラ映像が表示されます。

9. カメラ電源を切り、LAN ケーブルを外します。

10. カメラを設置します。
設置方法は、「2. 設置方法」を参照。

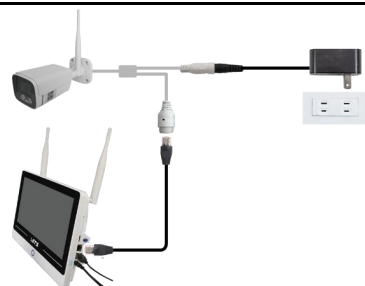
7-3. カメラを有線 LAN 接続で設置する場合

カメラと録画装置間の距離が長いまたは障害物により無線接続でカメラが映らない場合、スイッチングハブを利用して、LAN ケーブルで有線接続することが可能です。

【ご注意】 LAN 端子があるカメラのみ、有線 LAN 接続が可能です。

LAN ケーブルで接続するためには、次の機材は、お客様側でご用意ください。

- ・カメラ台数分のカメラまで届く長さの LAN ケーブル
- ・ポート数を満たすスイッチングハブ (カメラ + 録画装置 + ネットワーク接続分)



【メモ】

カメラ 1 台のみを LAN ケーブルで接続、かつネットワーク網に接続しない場合、スイッチングハブは不要です。この場合、カメラと録画装置間を LAN ケーブルで接続します。(接続後、手順 5 へ)



1. スイッチングハブに LAN ケーブルを接続します。左図は一例です。
詳しくは、スイッチングハブの取扱説明書を参照してください。
2. 手順 1 で接続した LAN ケーブルを、録画装置の LAN 端子に接続します。



3. カメラ台数分の LAN ケーブルを、スイッチングハブに接続します。

4. 手順3で接続した LAN ケーブルを、カメラの LAN 端子に接続します。
その後、カメラ及びスイッチングハブの電源を入れます。

5. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[ネットワーク設定]をクリックします。その後、ログイン操作をします。



6. ネットワーク設定画面(左図)を表示させます。
[有線インターネット]タブ、または[ワイヤレスネットワーク]タブを開くと、設定されている IP アドレスが表示されます。
(メモをしてください。)

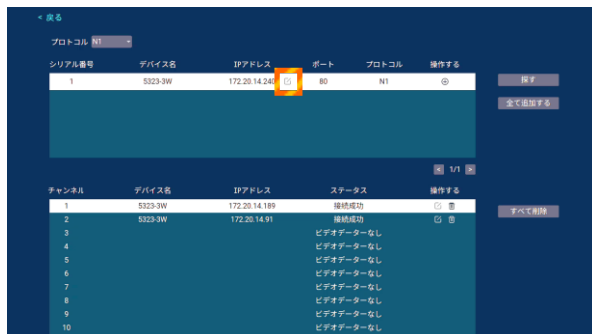
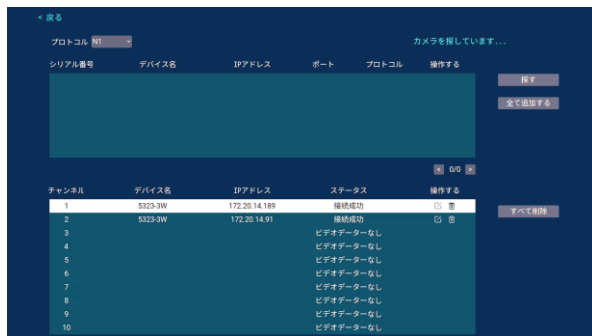
確認後、[<戻る]をクリックして、ネットワーク設定画面を閉じます。



7. ライブ映像画面のカメラを追加する画面内にマウスを移動して、[+]をクリックします。



8. 「カメラの電源投入」画面が表示されます。
[手動追加]をクリックします。



カメラIPを変更します

Macアドレス: 9c:a3:a9:bb:47:14

バージョン番号: 4.3.44.573010

プロトコル: N1

IPアドレス: 192.168.1.88

サブネットマスク: 255.255.0.0

カメラパスワード:

工場設定

設定に成功しました。

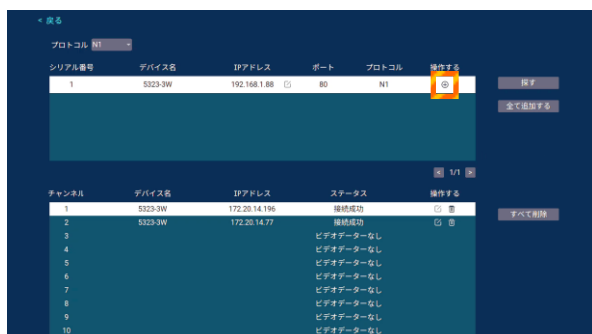
OK キャンセル

9. 手動追加画面が表示されます。
プロトコル(N1/ONVIF)を選択してから、
[探す]をクリックします。
カメラを自動で検索します。
お待ちください。

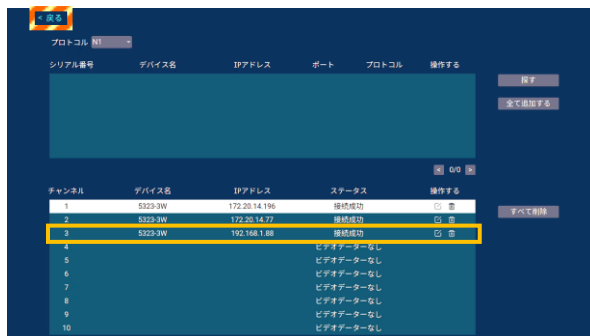
10. カメラが検出されます。
IP アドレスを変更するため、
[] をクリックします。

11. 「IP アドレス」を、手順6で確認した録画装置の IP アドレスと同じセグメント*に設定します。
IP アドレスの下3桁の数値を変更します。
次に、「サブネットマスク」を手順6と同じアドレス番号に設定します。
有線接続で使用するカメラは、録画装置と同じセグメントに設定しないと映像が映りません。

【メモ】同じセグメントに設定するとは、例として IP アドレス「192.168.1.114」の「192.168.1.」にあたるアドレス値が録画装置とカメラが一致している必要があります。
録画装置の IP アドレスが「192.168.1.114」に設定されている場合、カメラの IP アドレスは、「192.168.1.XXX」（XXX は 114 を除く、2～254 任意の値：例：192.168.1.101）に変更します。
このアドレス値は、他のカメラやネットワーク機器と重複するアドレス値を入力しないでください。



12. IP アドレスの値が変更されます。
[+] をクリックします。



13. 下の欄に、追加のカメラ情報が移動します。
確認後、[<戻る]をクリックします。



14. 「カメラの電源投入」画面に戻ります。
[次へ]をクリックします。



15. 「カメラを探しています…」画面が表示されます。
追加したカメラがリストに表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。



16. 「カメラのライブ画面を表示」画面が表示されます。
画面右側に、追加したカメラ映像が表示されることを確認してから、[次へ]をクリックします。



17. ライブ映像に追加したカメラ映像が表示されます。

8. トラブルシューティング

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。

状態によっては、本装置の再起動、電源のオフ／オンなどで改善する場合があります。

症 状	確認ポイント
モニターが写らない	・録画装置に録画装置用電源アダプタ (DC12V/3A) が接続されているか ・録画装置のモニター電源ボタンを押したか
ライブ映像が表示されない	・カメラにカメラ用電源アダプタが接続されているか ・カメラにアンテナが接続されているか ・カメラと録画装置間が離れすぎていないか ・カメラと録画装置間に障害物がないか (鉄筋の壁や金属製の扉等) ・カメラは録画装置に登録されているか ・[カメラ設定]画面に、チャンネルにカメラが登録されているか確認します ・カメラを無線で7台以上接続すると、通信環境により映像容量超過のため映像の遅延や映像が途切れる場合があります
スケジュール通り録画できない	・録画装置に録画装置用電源アダプタ (DC12V/3A) が接続されているか ・指定の電源アダプタを使用しないと、電力不足により録画できません。 ・[カメラ設定]画面の[録画モード]画面で、録画モードが正しく設定されているか (常時録画、カスタマイズ記録から、曜日・時間を指定する) ・上記の設定が、対象のカメラ毎に設定されているか
モーション (動体検知) 録画できない	・[カメラ設定]画面の[インテリジェント検出設定]が有効になっているか ・[カメラ設定]画面の[インテリジェント検出設定]画面内の、検出領域 (赤枠) と感度が確認されているか ・カメラ設定画面の[アラーム期間設定]が設定されているか ・上記の設定が、対象のカメラ毎に設定されているか
パソコンからライブ映像が監視できない	・ブラウザは、Internet Explorer/Microsoft Edge (Internet Explorer モード) を使用していますか ・Internet Explorer の設定で、監視する録画装置の IP アドレスが、「信頼済みサイトへの登録」に登録されているか ・Microsoft Edge の場合、[Internet Explorer モードを再読み込みする]を設定しているか ・有線でネットワーク接続時、[ネットワーク設定]画面内の[有線インターネット]のアドレスが適切に設定されているか ・無線でネットワーク接続時、[ネットワーク設定]画面内の[ワイヤレスインターネット]から Wi-Fi ネットワークが接続されているか ・外部のパソコンからライブ映像を見る場合、グローバル IP アドレスが設定されているか ・ログインユーザー名およびパスワードが正しいか
時刻がズレている	・[メニュー画面]→[システム設定]→[日付/時刻]画面で、システム時間を変更し、[適用]をクリックします
カメラの映像が上下逆さまになっている	・対象のカメラ映像内の[画像設定]アイコンをクリックして、画像設定画面から、[イメージ反転]をクリックします
映像が表示されている、かつ録画スケジュールを設定しているが、録画できなくなった	・再生できるか確認してください。録画が残っていない (再生できない) 場合、HDD が正常に認識されていない可能性があります。 ・HDD のフォーマットすることで、改善される場合があります。 ・その際、全ての録画映像は削除されますので、ご注意ください ・[メニュー画面]→[システム設定]→[ストレージ設定]画面の[再フォーマット]をクリックすると、HDD のフォーマットを実行します ・HDD の経年劣化により、録画できなくなった可能性があります
パスワードが分からなくなった	・本書裏面に記載されているカスタマーサービスにご連絡ください。

9. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

モニター付レコーダー（録画装置）

LCD 画面	12.5 インチ IPS 液晶モニター、解像度：1920×1080
映像入力	出荷時 2ch/4ch、最大 10ch まで設定可能
オペレーションシステム	組込み Linux OS
ビデオ圧縮方式	H.265（標準）、H.264
映像表示	10ch
映像再生	4ch
映像出力	HDMI×1、1080p(1920×1080)、1280×1024、1440×900
オーディオ出力	3.5mm オーディオ端子×1
IP プロトコル	IEEE 802.11 Wi-Fi、UPnP(プラグアンドプレイ)、SMTP(メールサービス)、DHCP
USB 端子	USB2.0×2
記録媒体	SATA×1 (2.5/3.5 インチ HDD：最大 6TB まで対応)
ネットワーク端子	RJ45×1 (10M/100M 自己適応型イーサネット)
録画モード	時間録画、動体検知録画
電源	DC12V/3A 電源アダプタ
消費電力	18W 以下
動作温度/湿度	-10℃～50℃ / 30%～80%（結露なきこと）
サイズ	約 300mm(W)×約 228mm(V)×約 78mm(H) アンテナ部を除く
重量	約 1.2kg（記録媒体を除く）、約 1.7kg（3.5 インチ HDD 搭載時）
連続録画時間	約 20 日間（カメラ 4 台、1TB の HDD 搭載の場合）
無線伝送距離	50m（録画装置とカメラ間に障害物がない場合）
技術基準適合証明	工事設計認証番号  219-239345

カメラ

センサー	1/2.7 インチ CMOS センサー
解像度	2304×1296、1920×1080（設定値）、1280×720
最低被写体照度	カラー：0.1Lux（F1.2）、白黒（IR 点灯時）：0.01Lux（F1.2）
映像圧縮方式	H.265、H.264
オーディオ圧縮方式	G.711、AAC コーデック
映像出力	メインストリーム：1920×1080@15fps、サブストリーム：640×360@15fps
デイ&ナイト	自動（デイ：赤外線カットフィルター、ナイト：赤外線オン）
ノイズ低減	2D/3D ノイズリダクションをサポート
ネットワーク	2.4GHz 帯 Wi-Fi
赤外線照射距離	5～8m
保護等級	IP65 相当
画角	水平 80 度、垂直 50 度
電源	DC12V/1A 電源アダプタ
消費電力	6.5W 以下
動作温度/湿度	-10℃～55℃ / 10%～90%（結露なきこと）
寸法	約 70.5mm(W)×約 180mm(D)×約 59mm(H) アンテナ部を除く
重量	約 380g
技術基準適合証明	工事設計認証番号  219-239345

お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

■カスタマーサービス

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-209-7860 FAX：052-201-5050

URL：<https://lets-co.jp>

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230 FAX：052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889 FAX：03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749